

取扱説明書 - 詳細版 -

HITACHI
Inspire the Next

基本編

応用編

技術情報編

液晶プロジェクター

CP-RX82J

(形名：CP-RX82)



このたびは弊社の液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

はじめに

ご使用前に、本機の取扱説明書（「かんたんガイド」および本書）をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。

お読みになった後は大切に保管してください。

この製品には保証書が添付されています。内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

《本機の特長》

本機には以下のような特長を備えており、幅広い用途でご活用いただけます。

- 本機は限られたスペースで大画面を表示できる軽量コンパクトの使いやすいプロジェクターです。
- 本機は温排気が使用する人に向かわない前面排気システムを採用しています。

《本書について》

以下をご参考に本書をご活用ください。

- ① 見出し：奇数ページの右端に記載されています。
- ② ：このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。
- ③ **お知らせ**：本機や接続する機器などに関する参考情報を記載しています。

お知らせ

- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。

《本書の構成》

本機の取扱説明書 - 詳細版 - は、基本編、応用編および技術情報編の3編に分かれています。

【基本編】 1 - 1

【基本編】では、本機の基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。

【応用編】 2 - 1

【応用編】では、本機の詳細な設定や調節を行うメニュー機能についてご説明します。

【技術情報編】 3 - 1

【技術情報編】では、本機の仕様や、通信機能、またエラーメッセージや故障と思われる現象への対処法についてご説明します。**保証やアフターサービス**については巻末をご覧ください。

取扱説明書 - 詳細版 -

液晶プロジェクター

CP-RX82J (形名 CP-RX82)

【基本編】

この基本編では、基本的な設定や調節、お手入れ方法などについて説明します。



警告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ



はじめに…………… 1 - 2

正しくお使いいただくために	
《必ずお読みください》……………	1 - 2
付属品の確認……………	1 - 12
各部の名称……………	1 - 13
プロジェクター (本機)……………	1 - 13
操作パネル……………	1 - 14
端子パネル……………	1 - 14
リモコン……………	1 - 15

準備・設置…………… 1 - 16

設置する……………	1 - 16
他の機器と接続する……………	1 - 18
セキュリティ・スロット／バーを使う……………	1 - 21
リモコンを準備する……………	1 - 22
- 電池を入れる……………	1 - 22
- リモコン信号について……………	1 - 23

基本操作…………… 1 - 24

電源に接続する……………	1 - 24
電源を入れる……………	1 - 26
電源を切る……………	1 - 27
音量を調節する……………	1 - 28
音声を消す……………	1 - 28

画面を調節する…………… 1 - 29

入力信号を選ぶ……………	1 - 29
入力信号を検索する……………	1 - 30
アスペクト (画面の縦横比) を選ぶ……………	1 - 30
傾きを調節する……………	1 - 31

ズーム (表示倍率)、	
フォーカス (焦点) を調節する ……	1 - 31
画面の自動調整機能を使う……………	1 - 32
画面の位置を調節する……………	1 - 32
キーストン (台形ひずみ) を調節する……………	1 - 33
画面を拡大する……………	1 - 33
映像を静止させる……………	1 - 34
映像を一時的に消す (ブランク) ……	1 - 34

点検とお手入れ…………… 1 - 35

ランプを交換する……………	1 - 35
- ランプについてのご注意……………	1 - 35
- ランプの交換方法……………	1 - 36
エアフィルターを掃除／交換する……………	1 - 37
その他のお手入れ……………	1 - 39
- 内部の点検とお手入れ……………	1 - 39
- レンズのお手入れ……………	1 - 39
- キャビネットとリモコンのお手入れ……………	1 - 39

仕様…………… 1 - 41

一般仕様……………	1 - 41
外形寸法……………	1 - 42

はじめに

正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。



「注意」を示します。

この記号の後に続けて「気をつけなければなりません」ことを記載しています。



「破裂注意」



「感電注意」



「高温注意」



「禁止」を示します。

この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。



「分解禁止」



「水ぬれ禁止」



「ぬれ手禁止」



「強制」を示します。

この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。



「電源プラグをコンセントから抜け」



「アース線を必ず接続せよ」

お守りください

本機、およびその他の周辺機器を快適にご使用いただくため、この表示に従ってください。

警告

異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

▶ 煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。

▶ 内部に異物や液体（金属や水）が入った。

▶ 落とした、強い衝撃をあたえた。

▶ 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。

電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

子どもやペットに注意する



誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。

お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には十分ご注意ください。

異物や液体を入れない

火災や感電の原因となります。

万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

▶ 花瓶、コップ、化粧品、薬品などの液体の入ったものや、ぬれた雑きんなどを、本機の上や近くに置かないでください。

▶ クリップやピンなどの金属の小物や、紙片などの燃え易いものを本機の上や近くに置かないでください。

▶ 付属品、信号ケーブル、信号アダプタ以外のものを、本機と一緒に箱やケースに入れないでください。

分解しない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。

▶ 本機のキャビネットや付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。

▶ 本機や付属品を加工しないでください。

▶ 内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

▶ ランプ、ランプカバー、フィルターユニットなどの部品を外した状態で使用しないでください。



分解禁止

衝撃をあたえない

ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。

万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

▶ 移動するときは電源コードや信号ケーブルの接続を外し、レンズカバーを取り付けてください。

▶ アジャスタ脚は本体を落とさないように持った状態で操作してください。

▶ 修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用ください。

警告 (つづき)

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない

落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となり、そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- ▶ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。
- ▶キャスター (車) 付きの台に載せる場合は必ずキャスター (車) 止めをしてください。
- ▶アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。(図1-31)
- ▶前面、側面、背面を下にして置かないでください。
- ▶天吊り (天井設置) など特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
- ▶天吊り (天井設置) など特殊な設置は指定の器具をご使用ください。



油を使用する場所に置かない

油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。また、プラスチックの劣化により、天井設置からの落下など、けがの原因となります。

- ▶調理台のある場所や機械油などを使用する場所に設置しないでください。



高温に注意する

本機の使用時、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。

- ▶使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、ランプカバーに触れたりしないでください。
- ▶排気口の近くにリモコンなどの物を置かないでください。
- ▶盗難防止用ワイヤー／チェーンを排気口の前や近くに置かないでください。
- ▶金属の台など、熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。
- ▶使用後に本機を移動する場合は、本機を十分冷ましてから行ってください。



高温注意

ぬらさない

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。水を掛けたり、水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください。

- ▶風呂場やシャワー室、台所などに置かないでください。
- ▶海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
- ▶水槽や植木鉢の近くに置かないでください。



水ぬれ禁止

レンズをのぞかない

本機の使用時は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。



警告 (つづき)

指定の電源電圧で使用する



指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。必ず、本体に表示されている指定電圧、**交流 100V のコンセント**に接続してご使用ください。

電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタを傷つけない

損傷のある電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。



- ▶ 本機など、重い物を載せないでください。
- ▶ ヒーターや本機の吸気口、排気口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。
- ▶ コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。
- ▶ 投げたり、ひきずったりしないでください。
- ▶ 加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。

ぬれた手で電源を接続したり外したりしない



感電の原因となります。

ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。

ぬれ手禁止

電源プラグは付着物をふき取ってから使用する



本機の電源端子や電源コード、電源アダプタのプラグ（刃）部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。必ず接続の前に、乾いた布などで取り除いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。電源コードや電源アダプタを接続するときは、根元まで確実に差し込んでください。

- ▶ ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。

アース線を必ず接続する



アース線を必ず接続せよ

アース線を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。

本書の「電源に接続する」(□□1-24)に従って、正しく接続してください。

- ▶ 2つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。
- ▶ アース線を接続するときは、電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線をアース端子に接続してください。
- ▶ アース線を外すときは、先に電源アダプタをコンセントから抜いてから外してください。

アース線をコンセントに差し込まない



アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。アース線はアース端子以外には接続しないでください

お手入れするときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。

お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

必ず本書の「点検とお手入れ」(□□1-35 ~ 40)をお読みにになり、正しくお手入れしてください。

警告 (つづき)

ランプユニットの取扱いに注意する

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプユニットの取扱いを誤ると、やけどの原因となったり、破裂してけがなどの原因となります。

万一、ランプが破裂した場合(破裂音がします)は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。排気口などから水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが出る場合があります。十分換気し、吸い込んだり、目や口から入らないようにご注意ください。万一、入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。内部にはガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。



破裂注意



高温注意

▶必ず本書の「ランプについてのご注意」(☞1-35)、「ランプの交換方法」(☞1-36)をお読みにになり、指定のランプを正しくご使用ください。

▶本機の仕様に合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。

▶使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となりやけどの原因となります。ランプの交換は電源を切ってプラグを抜き、45分以上放置して冷ましてから行ってください。

▶ランプに衝撃をあたえたり、傷つけたりしないように、丁寧に取扱ってください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従ってください。

電池の取扱いに注意する

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいのでお子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶交換するときは指定のタイプ(☞1-22)の新しい(未使用)電池を使用してください。

種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い(使用した)電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。傷のある電池は使用しないでください。

▶電池ケースの極性表示(⊕、⊖)に従って正しく入れてください。

▶リモコンを長時間使用しない場合はリモコンから電池を取り出して保管してください。

▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

▶子どもやペットが届かないところに保管してください。

▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従ってください。



破裂注意

注意

重い物を載せたりぶら下げたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

- ▶ 本機の上に乗ったり、重い物を載せたりしないでください。
- ▶ 本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。また超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。

- ▶ 海や川、プールなどの水辺の近くや、屋外には置かないでください。
- ▶ 調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気の多いところに置かないでください。
- ▶ 喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。

高温になるところに置かない



内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。

- 温度が高くなるところには置かないでください。
- ▶ 直射日光の当たるところ、ヒーターやエアコンの吹き出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。
 - ▶ 本機や付属品を電子レンジに入れないでください。

通風口をふさがない



通風が正常に行われないと内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

- ▶ 風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
- ▶ 吸気口、排気口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
- ▶ 布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
- ▶ 布や紙などの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。

エアフィルターを定期的にお手入れする



エアフィルターがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

- ▶ 必ず本書の「エアフィルターを掃除／交換する」(□□1-37)をお読みになり、指定のエアフィルターを正しくご使用ください。
- ▶ エアフィルターは定期的にお手入れしてください。
- ▶ エアフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

注意 (つづき)

磁気を発生するものを近づけない



本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

▶ 付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

使用しないときは電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセント
から抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。長時間ご使用にならない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

落雷のおそれがあるときは使用しない



電源プラグを
コンセント
から抜け

火災や感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください。

年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。

▶ お客様による内部のお手入れは危険ですので絶対におやめください。

▶ 内部のお手入れは、湿気の多くなる梅雨期の前が効果的です。

CD-ROM の取り扱いに注意する



取扱説明書 CD-ROM は、ケースに入れて大切に保管してください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

お守りください

リモコンに衝撃をあたえないでください
破損や故障の原因となることがあります。

- ▶ リモコンを投げたり落としたりしないでください。
- ▶ 上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。

リモコンをぬらさないでください

故障したり、電池が液漏れする原因となることがあります。

- ▶ 水を掛けたり、ぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください

リモコン送信の障害となって、リモコンが利かなくなることがあります。

レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

- ▶ レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。お手入れは市販のレンズ

クリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）をご使用ください。

レンズに何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください

高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。

レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください

リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

電波を発生するものを避けてください

本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。携帯電話やトランシーバなどは本機から離れて使用ください。

お守りください (つづき)

電源は正しい手順で切ってください

正しい手順をふまずに電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めたり、投写ランプがつきにくくなる場合があります。非常時を除き、電源は決められた手順 (図 1-27) で切ってください。

▶ 停電などによって、正しい手順をふまずに電源を切った (切れた) 場合は、電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。

電源を入れるときは他の機器より先に、切るときは他の機器より後に行ってください

接続している他の機器 (コンピュータやビデオなど) のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。

お手入れは正しい方法 (図 1-39) で行ってください。

▶ ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。

▶ ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。

▶ スプレーは使用しないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。

▶ 化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。ときどき画面から離れて目を休めてください。

梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

お知らせ

●本機の特性について

本機は周囲温度などの影響で、投写位置がずれたり、画面がゆがんだり、フォーカスが変動することがあります。ランプが点灯してから性能が安定するまでの約 30 分程度は、特に変化が生じ易くなりますので、必要に応じて確認と再調節を行ってください。

●寿命部品について

光学部品(ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS(Polarized Beam Splitter)、コントラストアップフィルム)および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面(スクリーンや壁面など)の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやコンピュータのモニタとは異なることがありますが、故障ではありません。

▶偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

▶本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日 6 時間以上ご使用になる場合は、1 年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また 6 時間以上連続してご使用になったり、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶ランプが点灯してから短い時間のうちに電源を切らないでください。また電源を切った後 10 分間は電源を入れないでください。電源の入れたり切ったりを、高温状態で行ったり、短い時間に続けて行ったりすると、ランプが不点灯となったり、ランプの寿命を縮める原因となります。

●液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様(1-41)と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点(光ったままの点)や黒点(光らない点)が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。

本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの速度を制御する機能を備えています。

周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、冷却ファンの回転騒音も大きくなります。

●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転騒音も大きくなります。

●ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効(LCD と CRT の同時表示または CRT の設定)にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコンの説明書をご覧ください。

●セキュリティ・スロット/バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

●この製品(付属品を含む)は日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

●電源高調波について

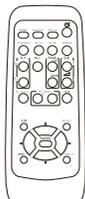
高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部: 限度値 - 高調波電流発生限度値(1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

付属品の確認

初めに付属品をご確認ください。この製品にはプロジェクター本体（本機）の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン



単 3 型乾電池× 2 個
(リモコン用)



電源アダプタ



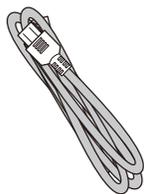
電源コードと
二つ穴コンセント
をつなげる
アダプタです。

コンピュータケーブル

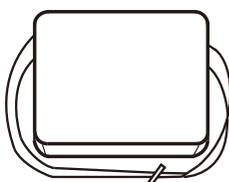


コンピュータの映像信号
を本機に入力するための
ケーブルです。

電源コード



ソフトケース

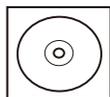


かんたんガイド



最初に本機をご利用いただくのに便利
な、簡易版 取扱説明書です。
本機と一緒に保管し、
必要なときにご参照ください。

取扱説明書 CD-ROM



「取扱説明書 - 詳細版 -」(本書)
が収録されています。

保証書



お買い上げの販売店名、
お買い上げ日をお確かめのうえ、
大切に保管してください。

警告



●不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない



●電源コードや信号ケーブルを傷つけない
本機など、重い物を載せないでください。



●電池の取扱いに注意する
子供やペットが届くところに放置しないでください。

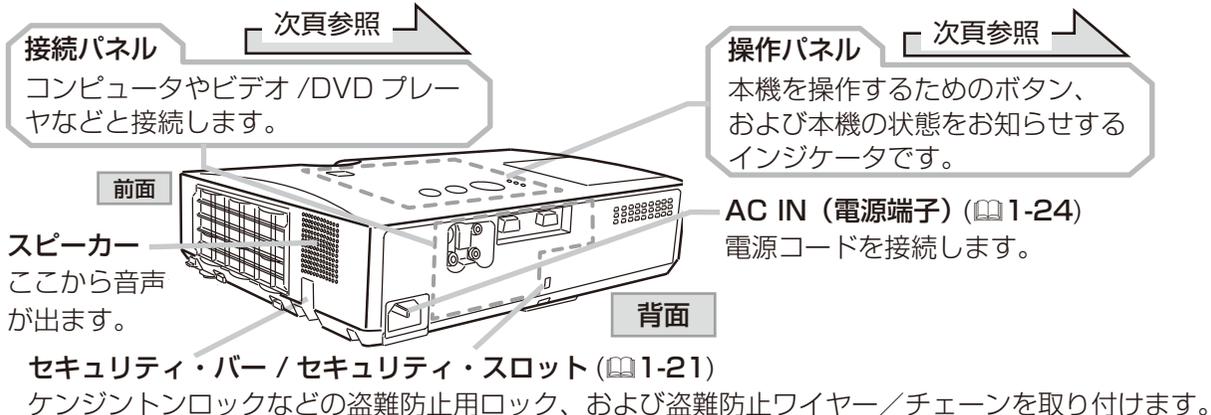
お守りください

●梱包材は大切に保管してください。

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

各部の名称

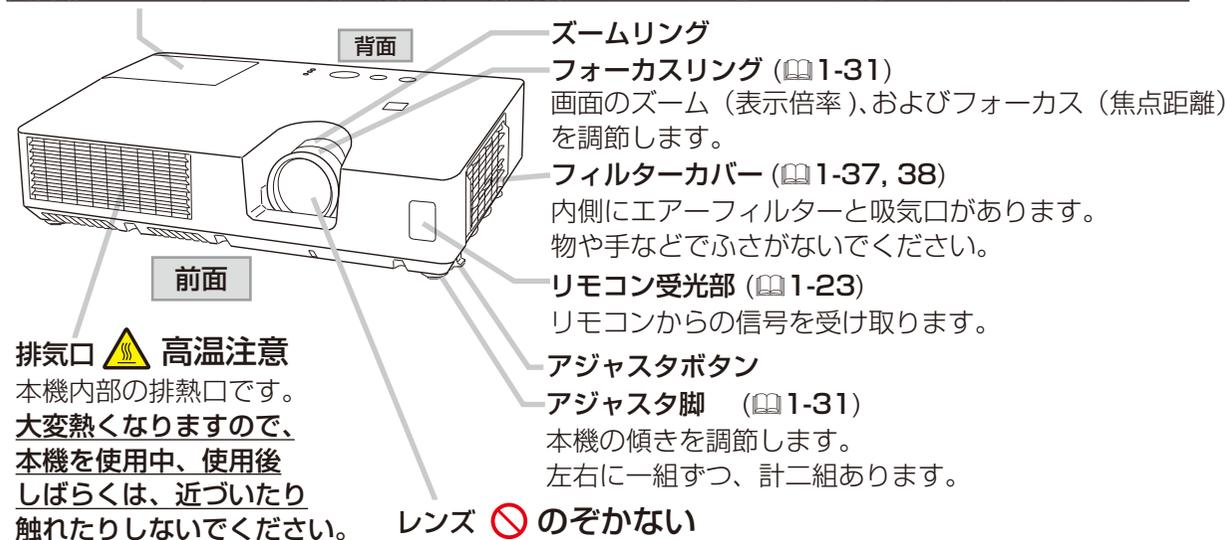
プロジェクター（本機）



ランプカバー (1-35,36) ⚠ 高温注意

内側にランプが取り付けられています。

大変熱くなりますので、本機を使用中、使用後しばらくは、近づいたり触れたりしないでください。



警告



- 衝撃をあたえない
アジャスタ脚は、本体を落とさないように持った状態で操作してください。



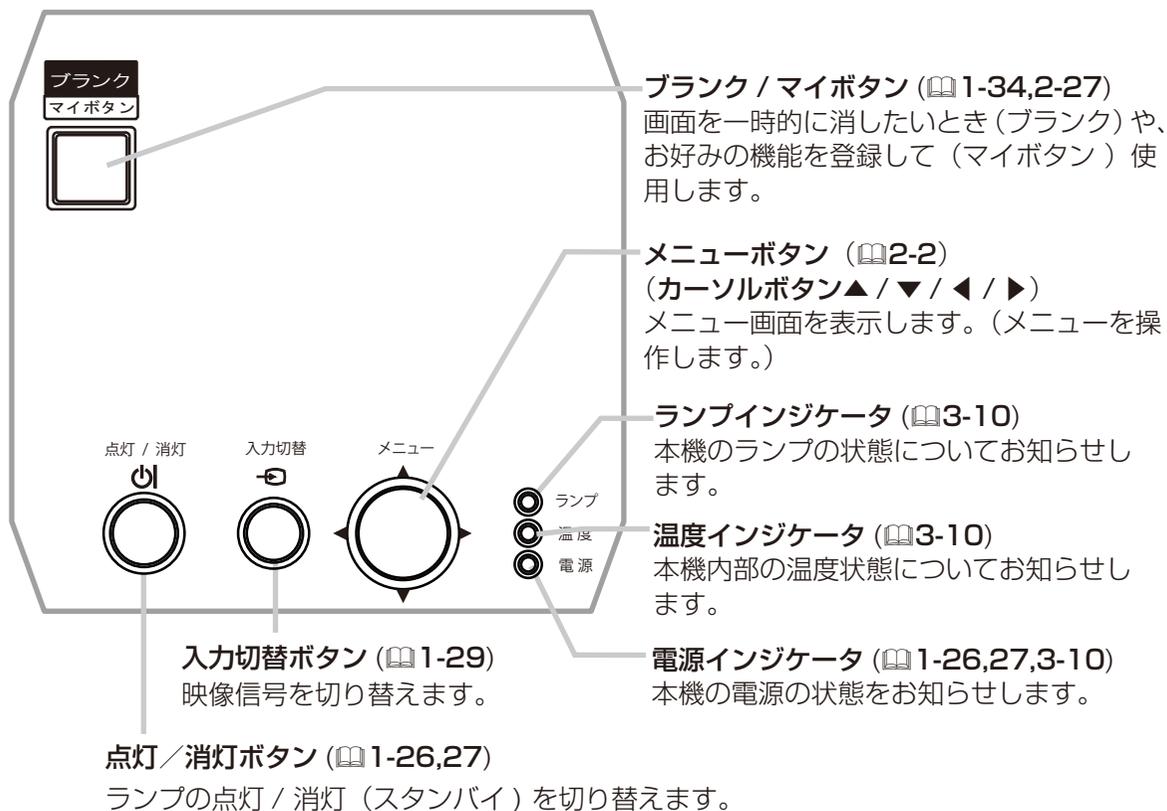
- レンズをのぞかない
本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



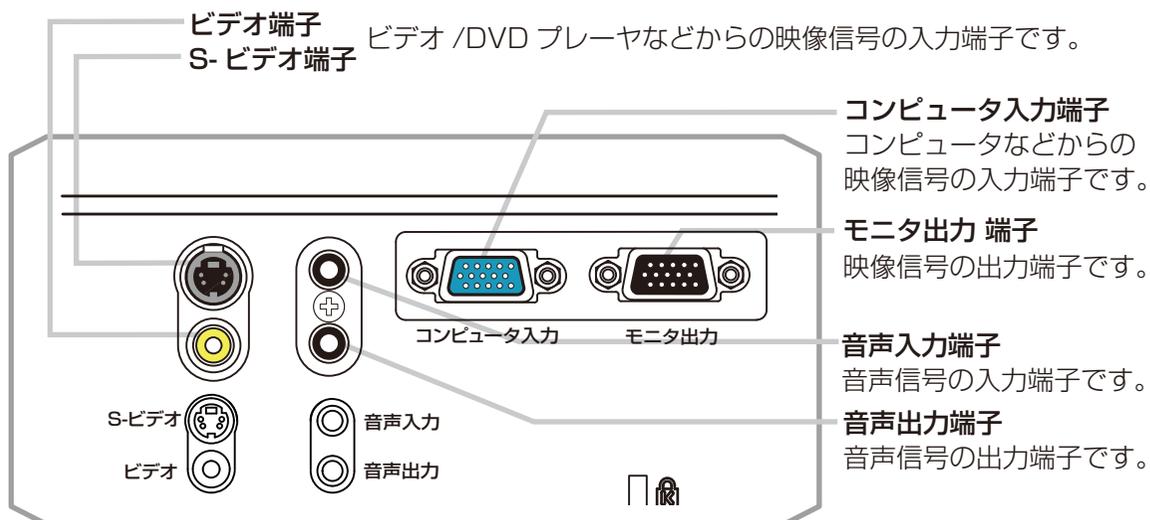
高温注意

- 高温に注意する
使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、ランプカバーに触れたりしないでください。

操作パネル



端子パネル



リモコン

コンピュータボタン (☞1-29)

コンピュータ入力端子からの映像信号を選択します。

ビデオボタン (☞1-29)

ビデオ端子、S-ビデオ端子からの映像信号を選択します。

アスペクトボタン (☞1-30)

表示画面の縦横比を設定します。

オートボタン (☞1-32)

画面の自動調整を行います。

拡大オン/オフボタン (☞1-33)

画面の拡大オン/オフを行います。

静止ボタン (☞1-34)

一時的に表示画面を静止させるときに使用します。

キーストンボタン (☞1-33)

画面の台形ひずみを補正します。

PAGE UP/DOWN ボタン

本機では使用しません。押された場合には、画面にメッセージ (☞3-9) が表示されます。

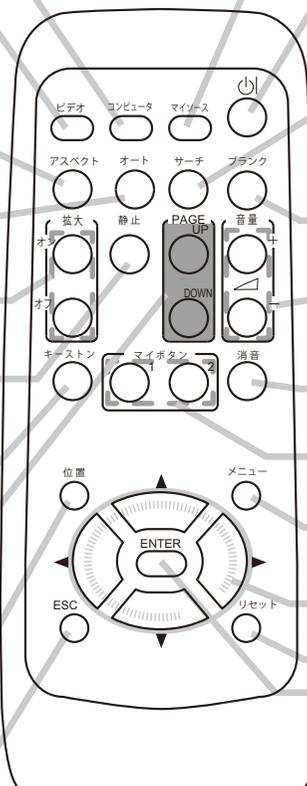
位置ボタン (☞1-32)

画面の位置を調節します。

ESC ボタン (☞2-2)

メニュー画面の操作などに使用します。

前面



マイソースボタン (☞1-29, 2-28)

このボタンに登録した端子からの映像信号を選択します。

点灯/消灯ボタン (☞1-26,27)

ランプの点灯/消灯 (スタンバイ) を切り替えます。

サーチボタン (☞1-30)

本機に入力されている映像信号を検索します。

ブランクボタン (☞1-34)

一時的に画面を消す時に使用します。

音量 + / - ボタン (☞1-28)

音量を調節します。

消音ボタン (☞1-28)

音声をオン/オフします。

マイボタン 1/2 (☞2-28)

機能を設定してご使用になれます。

メニューボタン (☞2-2)

メニュー画面を表示します。

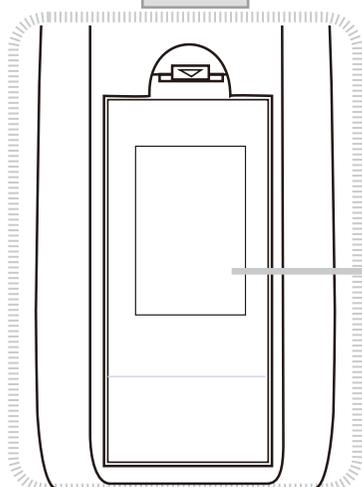
カーソルボタン (▲ / ▼ / ◀ / ▶) (☞2-2)

リセットボタン (☞2-2)

ENTER ボタン (☞2-2)

メニュー画面の操作などに使用します。

背面



電池カバー (☞1-22)

内側に電池ケースがあります。

電池の取り扱いには注意してください。

お知らせ

- リモコンの各機能は、信号などの条件によって動作が異なる場合があります。詳しくは、各参照ページをお読みください。

準備・設置

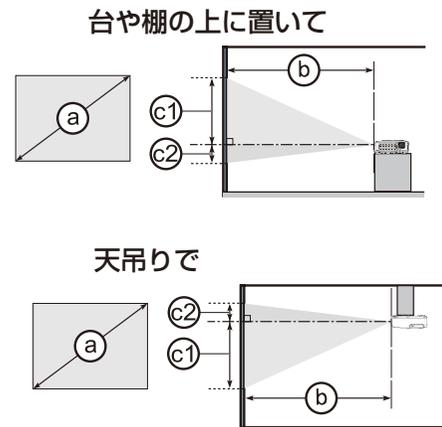
設置する

本機は、高温、湿気、ほこりや直射日光を避け、安定した涼しい場所に設置してください。ご使用環境に合わせ、設置の方法と位置を決めてください。

プロジェクターとスクリーンの距離については下表をご参照ください。下表の数値はフルスクリーン(1024 × 768)の場合の参考値です。

(a) 画面サイズ(対角寸法) (b) 投写距離 (c1), (c2) スクリーン高さ

(a) スクリーン サイズ (対角寸法)		4 : 3 画面				16 : 9 画面			
		(b) 投写距離 m		スクリーン 高さ cm		(b) 投写距離 m		スクリーン 高さ cm	
型 (インチ)	m	最小	最大	(c1)	(c2)	最小	最大	(c1)	(c2)
30	0.8	0.9	1.1	39	7	1.0	1.2	36	1
40	1.0	1.2	1.5	52	9	1.3	1.6	49	1
50	1.3	1.5	1.8	65	11	1.7	2.0	61	1
60	1.5	1.8	2.2	78	13	2.0	2.4	73	2
70	1.8	2.1	2.6	91	15	2.3	2.8	85	2
80	2.0	2.4	3.0	105	17	2.7	3.2	97	2
90	2.3	2.8	3.3	118	20	3.0	3.6	109	3
100	2.5	3.1	3.7	131	22	3.3	4.0	122	3
120	3.0	3.7	4.4	157	26	4.0	4.8	146	4
150	3.8	4.6	5.6	196	33	5.0	6.1	182	4
200	5.1	6.1	7.4	261	44	6.7	8.1	243	6
250	6.4	7.7	9.3	327	54	8.4	10.1	304	7
300	7.6	9.2	11.2	392	65	10.1	12.2	365	9



警告



- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



- 高温に注意する
熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの上や近くで本機を使用しないでください。



- 分解しない、改造しない
本機や付属品を加工しないでください。



- 衝撃をあたえない
アジャスタ脚は本体を落とさないようにしっかり支えた状態で操作してください。



- 不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない
ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定な場所には置かないでください。キャスター(車)付きの台に載せる場合は必ずキャスター(車)止めをしてください。アジャスタ脚の調節以外は傾けて設置しないでください。設置器具の指定品をご使用になり、天吊り(天井設置)などの特殊な設置は、必ず販売店にご依頼ください。

警告 (つづき)



- **ぬらさない、ぬれる場所に置かない、油煙の当たるところに置かない**
風呂場やシャワー室、調理台のある場所や機械油などを使用する場所などに置かないでください。海や川、プールなどの水辺の近くや屋外には置かないでください。水槽や植木鉢の近くに置かないでください。

注意



- **湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や湯気などの当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない**
調理台、加湿器、植木鉢の近くなど、湿気が多いところに置かないでください。特に超音波式加湿器などの近くでは、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、画像劣化や故障などの原因となることがあります。喫煙所や人通りの多い場所に置かないでください。



- **高温になるところに置かない**
直射日光の当たるところ、ヒーターやエアコンの吹き出し口の近くなど、熱源の近くや温風が当たるところには置かないでください。



- **通風口をふさがない**
風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。布や紙、テーブルクロスなどの吸い付く物を、吸気口の近くに置かないでください。



- **磁気を発生するものを近づけない**
付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

お守りください

- 設置の際は、本機とスクリーンとの間に障害物がないことをよく確認してください。
- 本機と壁などとのスペースを 30cm 以上とってください。
- セキュリティ・スロット／バーを落下防止用を使用する場合は、販売店にご相談ください。
- 「その他」メニュー (P.2-25) の「特別な設定」(P.2-29) - 「ファン速度」が正しく設定されているか、ご確認ください。誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。
- 電波を発生するものを避けてください。

お知らせ

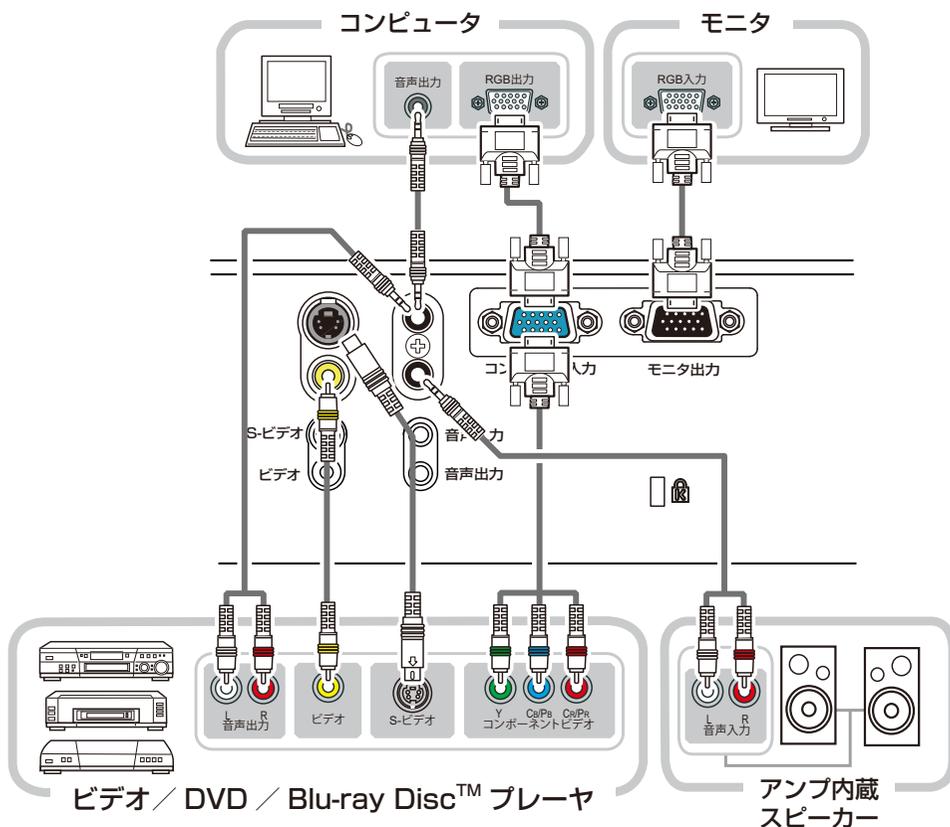
- 天吊り設置にすると、本機はプラスチック製のため、映像表示位置が変わることがあります。再設定が必要な場合は、販売店または業者にお問い合わせください。
- 製品には個体差があります。表の数値には誤差 (± 10%) が生じることがありますので、設置の際にはご注意ください。
- リモコン受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合には本機の位置を調節してください。
- 本機を動かしたとき、内部からカタカタ音がある場合があります。これは本機の設置姿勢に合わせて、内部で空調の切り替えを行うフラップが動く音です。故障や不具合ではありません。

他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプタが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。

解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプタを準備してください。本機の端子形状は「入出力信号端子」(3-4 ~ 7) をご覧ください。本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、以下の図をご参考に接続を行ってください。

コンピュータ入力端子にコンポーネントビデオ信号を入力するには、「コンピュータ入力端子へのコンポーネントビデオ信号の入力について」(3-5) をご覧ください。



(次ページにつづく)

警告



分解禁止

- 分解しない、改造しない**
本機や付属品を加工しないでください。



- 信号ケーブルやコネクタを傷つけない**
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。



- 信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する**
本機に同梱されているものは必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の信号ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ、適切なものをご使用ください。

注意



電源プラグを
コンセント
から抜け

- 接続するときは電源プラグを抜く**
接続作業は、本機や接続する機器の電源を切って行ってください。本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

お守りください

- 接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。正しく接続されていないと本機や接続される機器の故障の原因になります。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
- 本機の各接続端子は凹んでいるので、L形ではなく、ストレート形プラグのケーブルを使用してください。

お知らせ

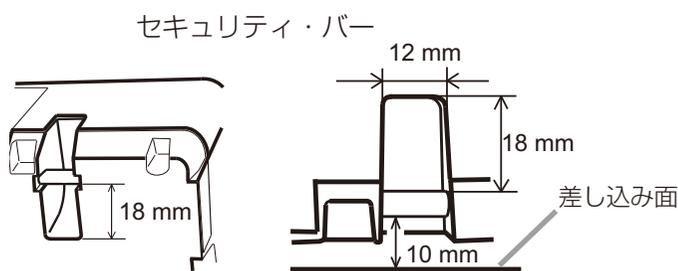
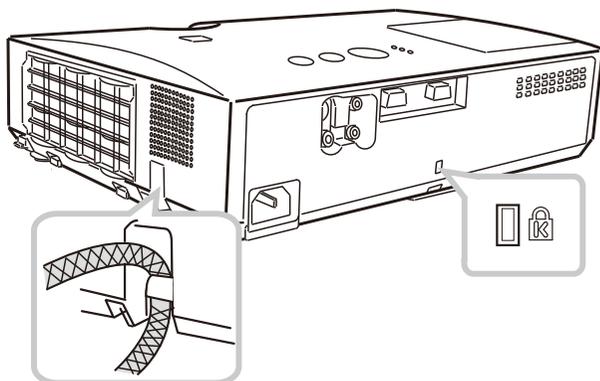
- ノートパソコンや、ディスプレイ一体型コンピュータなどと接続する場合は、RGB 外部映像出力を有効 (LCD と CRT の同時表示または CRT の設定) にしてご使用ください。詳しくはご使用になるノートパソコン、ディスプレイ一体型コンピュータの説明書をご覧ください。
 - 入力信号によっては、本機の自動調整機能 (🔧 1-32) が正しく働かなかったり、映像を表示できなかつたりすることがあります。また複数の表示モードを持っているコンピュータでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。あらかじめご確認ください。
 - コンピュータ上で解像度を切り替えるとき、本機の自動調整機能が正常に動作しなかつたり通常より時間がかかたりすると、解像度切替えのための画面表示が確認できず、もとの解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。
 - 本機は UXGA(1600 × 1200) 信号まで表示できますが、信号処理の過程で本機の液晶パネルの解像度 (1024 × 768) に変換しています。映像品質は入力信号と本機のパネルの解像度が同じときに最良です。
 - 本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機を VESA DDC (Display Data Channel) 対応のコンピュータに接続してご使用になると、プラグ & プレイを実現できます。
- ※プラグ & プレイは、コンピュータと、表示装置などの周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。
- ・本機の**コンピュータ入力**端子とコンピュータを付属のコンピュータケーブルで接続してご使用ください。
 - ・本機は「プラグ&プレイ・モニタ」として認識されます。このとき、ディスプレイドライバは、標準のものをご使用ください。
 - ・接続するコンピュータによってはプラグ&プレイが動作しない場合があります。

セキュリティ・スロット／バーを使う

本機は、市販の盗難防止用ロックをご使用になるためのセキュリティ・スロットと、盗難防止用ワイヤーやチェーンをご使用になるためのセキュリティ・バーを備えています。

セキュリティ・バーには直径 10mm までのワイヤーまたはチェーンを取り付けることができます。

詳細はご使用になる盗難防止用ロック、盗難防止用チェーン／ワイヤーの説明書をご覧ください。



お守りください

- 盗難防止用チェーン／ワイヤーは、高温になりますので排気口に近づけないでください。

お知らせ

- 本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

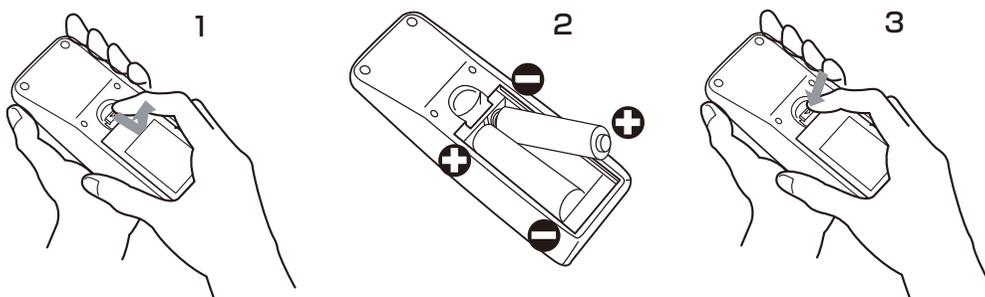
リモコンを準備する

電池を入れる

付属のリモコンは単3型乾電池2本を使用します。ご使用前に電池をリモコンに入れてください。電池は必ず下記のものをご使用ください。

付属リモコン用電池：日立マクセル製、型名 LR6 または R6P

1. 電池カバーのつまみを軽く手前に引きながら電池カバーを外してください。
2. リモコンの中に表示された極性表示（⊕、⊖）を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
3. 電池カバーをもとのように閉じてください。



警告

●電池の取扱いに注意する

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶電池は、必ず指定のタイプ（上記）の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。

▶電池は、電池ケースの極性表示（⊕、⊖）に従って正しく入れてください。

▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。

▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

▶子どもやペットが届かないところに保管してください。

▶衝撃をあてえないでください。投げたり落としたりしないでください。

▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。



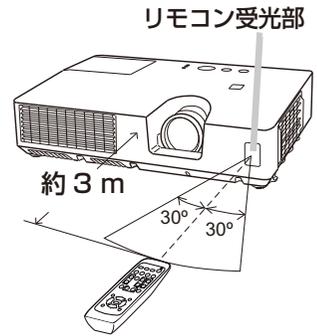
破裂注意

リモコン信号について

付属のリモコンは、本機のリモコン受光部へ信号を送って機能します。リモコン信号は、受光部への入射角度上下左右に各 30°、距離約 3 m の範囲で有効です。

リモコン信号は、スクリーンなどに反射させて操作できる場合もあります。(反射面によっては反射できない場合もあります。)

また、受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合には本機の位置を調節してみてください。



警告



高温注意

●高温に注意する

排気口の近くにリモコンを置かないでください。



分解禁止

●分解しない、改造しない

リモコンを加工しないでください。

お守りください

- リモコンに衝撃をあたえないでください。リモコンを投げたり落としたり、上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。
- リモコンに水を掛けたり、リモコンをぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。
- リモコンと本機の受光部の間に物を置かないでください。リモコンは赤外線でお机に信号を送っています。(クラス 1 LED 製品) リモコンと本機の受光部の間に障害物があると、リモコンが利かないことがあります。
- 光源や直射日光などの強い光を避けて設置してください。リモコン受光部に強い光が当たると、リモコンが正常に働かないことがあります。

基本操作

電源に接続する

本機の電源端子と AC（交流）100V の電源コンセントを、付属の電源コードと必要に応じて電源アダプタで接続してください。

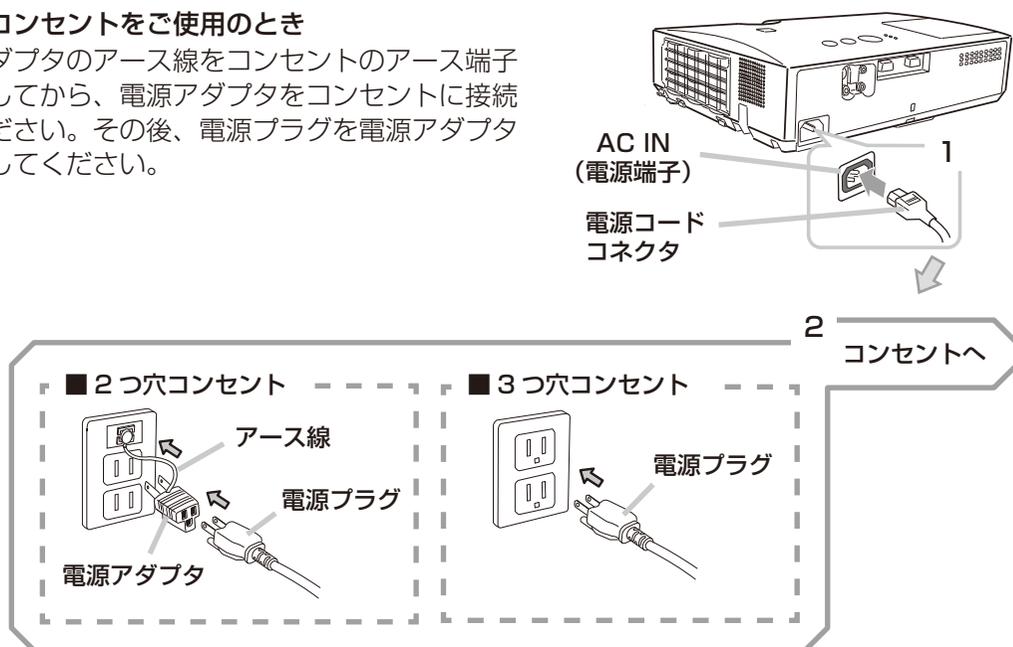
1. 電源コードのコネクタ側を本機の AC IN に接続してください。

2. ■ 3つ穴コンセントをご使用のとき

電源プラグをコンセントに接続してください。

■ 2つ穴コンセントをご使用のとき

電源アダプタのアース線をコンセントのアース端子に接続してから、電源アダプタをコンセントに接続してください。その後、電源プラグを電源アダプタに接続してください。



電源が接続されると、本機はスタンバイ状態となり、操作パネルの電源インジケータが橙色に点灯します。

お知らせ

- 「その他」メニューで「ダイレクトパワーオン」を「有効」にすると（[2-24](#)）、電源に接続したとき自動的にランプが点灯します。

（次ページにつづく）

警告



電源プラグを
コンセント
から抜け

- 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。



- 指定の電源電圧で使用する
必ず、本体に表示されている指定電圧、交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。



- 電源コードや電源アダプタは同梱品を使用する
電源コードや電源アダプタは本機に付属のものをご使用ください。傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。



- 電源プラグは付着物をふき取ってから使用する
必ず接続の前に、接続部やその周辺に付着しているほこりや金属類など取り除いてください。



- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。



アース線を
必ず接続せよ

- アース線を必ず接地する
2つ穴コンセントを使用する場合、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。アース線の接続は電源アダプタをコンセントに差し込む前に、アース線を外すときは電源アダプタをコンセントから抜いてから、行ってください。



- 電源コードや電源アダプタを傷つけない
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。本機など、重い物を載せないでください。ヒーターや本機の通風口の近くなど、高温になる場所に置かないでください。コードやケーブル部分を持って引っ張らないでください。投げたり、ひきずったりしないでください。加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしないでください。



- ぬれた手で電源を接続したり外したりしない
ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わないでください。



- アース線をコンセントに差し込まない
アース線はアース端子以外には接続しないでください。

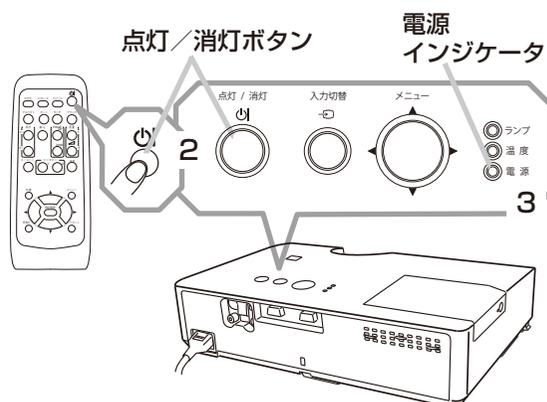
お守りください

- 接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、接続している他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

電源を入れる

1. 電源コードが正しく接続され、操作パネルの電源インジケータが橙色に点灯していることを確認してください。
2. リモコンまたは操作パネルの点灯／消灯ボタンを押してください。
3. ランプが点灯すると、スタートアップ画面が表示されます。電源インジケータは点滅をやめ緑色に点灯します。

絶対にレンズや投写光をのぞかないでください。



警告



●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



高温注意

●高温に注意する

使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。

お守りください

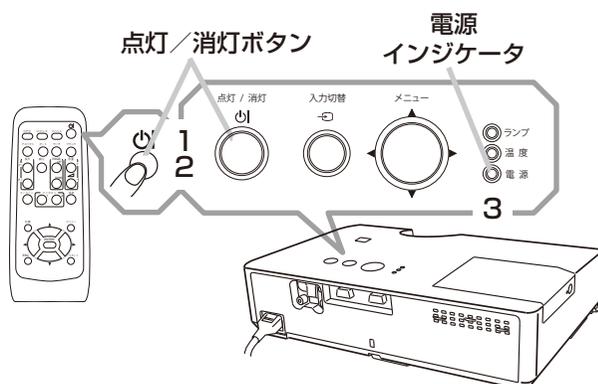
- 本機の電源は、接続している他の機器より先に入れてください。接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

お知らせ

- 「その他」メニューで「ダイレクトパワーオン」を「有効」にすると（2-24）、電源に接続したとき自動的にランプが点灯します。

電源を切る

1. リモコンまたは操作パネルの点灯／消灯ボタンを押してください。「電源を切りますか？」のメッセージが約5秒間表示されます。
2. もう一度点灯／消灯ボタンを押してください。電源インジケータが橙色に点滅を始めると共にランプが消灯・冷却を始めます。
3. 冷却が終わると電源インジケータは点滅をやめ、橙色に点灯します。



ランプが点灯してから短い時間のうちに電源を切らないでください。また電源を切った後 10 分間は電源を入れないでください。電源の入れたり切ったりを、高温状態で行ったり、短い時間に続けて行ったりすると、ランプが不点灯となったり、ランプの寿命を縮める原因となります。

警告



●レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。



高温注意

●高温に注意する

使用中や使用後しばらく、排気口に近づいたり、レンズやランプカバーに触れたりしないでください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

●使用しないときは電源プラグを抜く

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。

お守りください

- 本機の電源は、接続している他の機器より後に切ってください。接続している他の機器（コンピュータやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

お知らせ

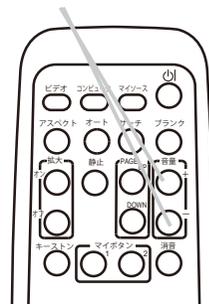
- 「その他」メニューの「オートパワーオフ」(2-25)を「有効」に設定している場合、無信号状態が設定した時間だけ続くと自動的にランプが消灯します。

音量を調節する

音量を調節するために**音量 + / 音量 -**ボタンを使います。

音量調節中は画面上にダイアログが表示されます。なにも操作が行われないと、ダイアログが数秒後に自動的に消えます。

音量 + / - ボタン



お知らせ

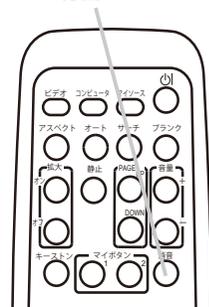
- 「オーディオ」メニュー (図2-18) の「音声入力設定」で「**✕**」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、音量は調節できません。また、「音声出力 スタンバイ」に「**✕**」が選択されているか、「スタンバイモード」(図2-17) が「省電力」に設定されていると本機がスタンバイ状態の時には音量を調節できません。

音声を消す

リモコンの**消音**ボタンを押してください。音声が消え、消音ダイアログ (音声調節のためのガイドの先頭に「**✕**」が表示されているもの) が表示されます。ダイアログは約 5 秒で消えます。

もう一度**消音**ボタンを押すか、**音量 + / 音量 -** ボタンを押して音量の調節を開始すると、音声は復帰します。

消音ボタン



お知らせ

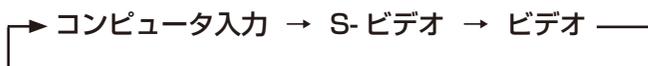
- 「オーディオ」メニュー (図2-18) の「音声入力設定」で「**✕**」が選択されている端子からの入力信号を選択しているときには、**消音**ボタンを押さなくても本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。また、「音声出力 スタンバイ」に「**✕**」が選択されているか、「スタンバイモード」(図2-17) が「省電力」に設定されていると、本機がスタンバイ状態の時には、**消音**ボタンを押さなくても**音声出力**端子から音声は出力されません。
- 「スクリーン」メニューの「C.C.」(図2-23) で、「ディスプレイ」が「オート」に設定されている場合、C.C. 対応の、NTSC 方式のビデオ信号、S-ビデオ信号、または 480i@60 コンポーネントビデオ信号を受信しているときに**消音**ボタンを押すと、自動的に C.C. 機能が有効になります。

画面を調節する

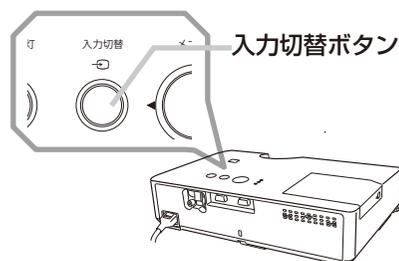
入力信号を選ぶ

■入力切替ボタンを押す

操作パネルの入力切替ボタンを押すごとに入力端子を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に以下の順序で切り替えます。



「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(☑2-24)の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。

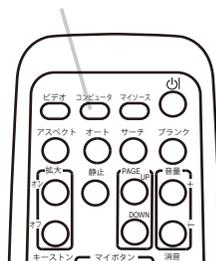


■リモコンのコンピュータボタンを押す

リモコンのコンピュータボタンを押すと、信号の入力端子をコンピュータ入力に切り替えることができます。

「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(☑2-24)の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。ビデオ、S-ビデオのいずれかの端子が選択されていたときに、コンピュータボタンが押されると、コンピュータ入力端子を最初に検索します。

コンピュータボタン



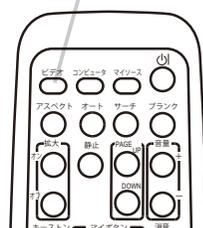
■リモコンのビデオボタンを押す

リモコンのビデオボタンを押すごとにビデオ、S-ビデオの入力端子を切り替えることができます。選択されていた端子を起点に以下の順序で切り替わります。

S-ビデオ ←→ ビデオ

「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(☑2-24)の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。コンピュータ入力端子が選択されていたときに、ビデオボタンが押されると、S-ビデオ端子を最初に検索します。

ビデオ ボタン

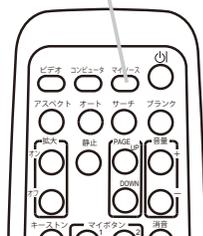


■リモコンのマイソースボタンを押す

リモコンのマイソースボタンを押すと、「マイソース」(☑2-28)に設定した信号に入力端子を切り替えることができます。

この機能はドキュメントカメラにも使用可能です。このボタンを押すことで、ドキュメントカメラを接続した入力端子を選択します。

マイソース ボタン



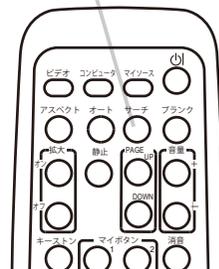
入力信号を検索する

リモコンの**サーチボタン**を押すと入力信号の検索を開始します。入力を検出したら検索をやめ、画像を表示します。入力信号が見つからない場合は、**サーチボタン**を押したときの状態に戻って終了します。

→ コンピュータ入力 → S-ビデオ → ビデオ →

「その他」メニューの「オートサーチ」が「有効」(2-24)の場合は、正常な入力信号を検出するまで、各端子を自動的に検索します。

サーチボタン



アスペクト (画面の縦横比) を選ぶ

リモコンの**アスペクトボタン**を押すたびに、以下の順序で表示画面の縦横比が切り替わります。

○コンピュータ信号

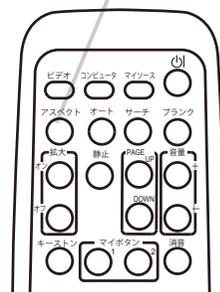
→ ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 →

○ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号

→ 4:3 → 16:9 → 14:9 →

○信号の入力がないとき
4:3 (固定)

アスペクトボタン



お知らせ

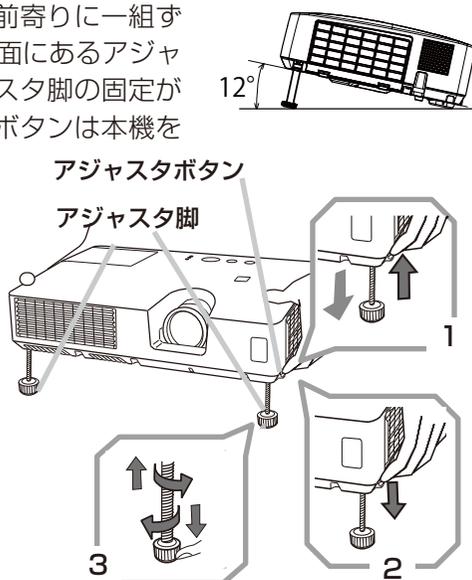
- 信号の入力がないとき、**アスペクトボタン**は動作しません。
- 「ノーマル」を選択すると、受信中の映像信号そのままの縦横比で表示されます。

傾きを調節する

スクリーンなどの投写面に傾きがある場合は、アジャスタ脚を使って本機のレンズ面と投写面をできるだけ平行にしてください。本機のアジャスタ脚では、水平な設置面に対し、前上がり最大 12° まで傾けることができます。

アジャスタ脚とアジャスタボタンは、本機の左右側面下部、前寄りに一組ずつ計二組あります。アジャスタボタンを引き上げると、その側面にあるアジャスタ脚の固定がはずれて、脚の長さを変えられます。アジャスタ脚の固定がはずれると、本機が落ちることがありますので、アジャスタボタンは本機を持ちながら操作してください。

1. 後部を設置面に着けたまま、本体を背面から両手で支え、アジャスタボタンを引き上げてください。アジャスタ脚の長さを変えられるようになります。
2. アジャスタボタンを引き上げたまま、本機的位置（角度）を決めます。お好みの位置でアジャスタボタンを放してください。アジャスタ脚が固定されたのを確認して、静かに本体を置いてください。
3. アジャスタ脚をネジのように回すと、アジャスタ脚を固定したまま長さを微調節できます。必要に応じてお使いください。



警告



●**衝撃をあたえない**

アジャスタ脚の調節は、本体を持ちながら行ってください。



●**不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない**

アジャスタ脚の調節以外の方法で傾けて設置しないでください。



●**傾けて使用しない**

傾けてのご使用は、前後方向（前上がり）12° 以内で設置してください。

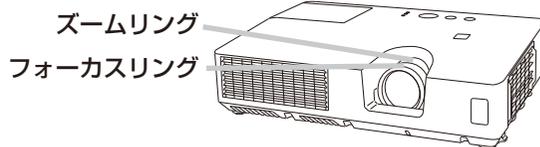
12° 以上の角度に傾けた状態でのご使用は故障や寿命を縮める原因となります。

ズーム（表示倍率）、フォーカス（焦点）を調節する

投写画面を見ながら、ズームリングを左右に回して映像画面の大きさを調節してください。

フォーカスリングを左右に回して映像の焦点を合わせてください。

絶対にレンズ、投写光をのぞかないでください。



画面の自動調整機能を使う

リモコンのオートボタンを押すと、以下の自動調整が実行されます。

■コンピュータ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置、クロック位相が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。

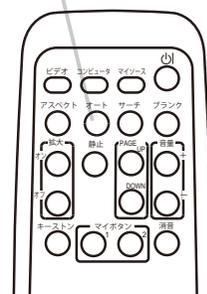
■ビデオ信号、S-ビデオ信号を表示しているとき

入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。この機能は、「入力」メニューの「ビデオフォーマット」が「オート」に設定されているとき(☞2-13)のみ有効になります。画面の水平位置と垂直位置が自動的に初期設定に戻ります。

■コンポーネントビデオ信号を表示しているとき

画面の垂直位置、水平位置、が自動的に初期設定に戻ります。クロック位相は、自動調整されます。

オートボタン

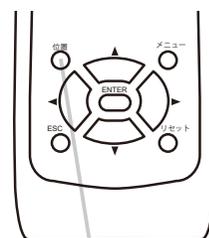


お知らせ

- 自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。
- ビデオ信号を自動調整すると、画像の外側に線などが表示されることがあります。
- コンピュータ信号を自動調整すると、コンピュータによっては、表示映像の縁に黒い枠が表示されることがあります。
- 「その他」メニューの「特別な設定」－「オートアジャスト」で、「詳細」または「無効」が設定されていると(☞2-29)、自動調整される項目が変わります。

画面の位置を調節する

1. リモコンの位置ボタンを押してください。「位置」ダイアログが表示されます。
2. ダイアログが表示されている間に、カーソルボタン ▲/▼/◀/▶ で画面位置を調節してください。画面の位置調節を取り消すにはダイアログが表示されている間にリモコンのリセットボタンを押してください。画面をもとの位置に戻すことができます。終了するには、もう一度位置ボタンを押してください。なにも操作をしないと、数秒後にダイアログが自動的に消えます。



位置ボタン

お知らせ

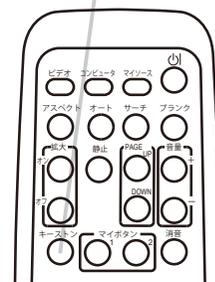
- ビデオ信号、S-ビデオ信号またはコンポーネントビデオ信号を受信しているときは画面の周囲に余分な線などが現れる場合があります。
- ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(☞2-9)の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。
- メニューが表示されているときに位置ボタンを押すと、画面の位置は動かず、メニューの表示位置を調節することができます。

キーストン（台形ひずみ）を調節する

1. リモコンのキーストンボタンを押してください。
「キーストン」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタン ◀/▶ で補正量を調節してください。
数秒間なにも操作を行わないか、もう一度キーストンボタンを押すと、ダイアログが消えてキーストンの調節を終了します。



キーストンボタン



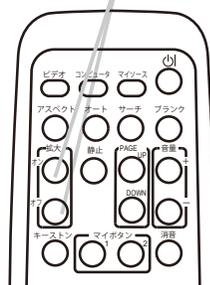
お知らせ

- キーストン補正の調節範囲は表示信号によって異なります。また、表示信号によっては正しく動作しないことがあります。

画面を拡大する

1. リモコンの**拡大-オン**ボタンを押すと、画面が1.5倍に拡大表示され、「拡大」ダイアログが表示されます。数秒間なにも操作をしないと表示は消えます。このダイアログに表示される三角形のマークは、拡大領域の移動できる方向を表しています。
2. ダイアログの三角形のマークが表示されている間に、カーソルボタンの▲/▼/◀/▶を使って拡大領域を移動させることができます。
3. ダイアログの三角形のマークが表示されている間に**拡大-オン**ボタンを押すと、ダイアログ中に虫メガネのアイコンが表示されます。
4. ダイアログに虫メガネのアイコンを表示している間、▲/▼カーソルボタンを使用して倍率を調節します。
5. 拡大表示を解除するには、リモコンの**拡大-オフ**ボタンを押してください。

拡大-オン/オフボタン

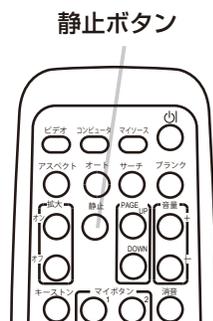


お知らせ

- 拡大ダイアログを表示している間に拡大領域の移動と倍率調節を切り替えるためには、**拡大-オン**ボタンを押してください。
- 入力信号が変化したときや表示状態を変更する操作（画面の自動調整やアスペクトの切替えなど）を実行したときにも画面の拡大は終了します。
- 拡大機能を有効にすると、キーストン補正の状態が正しく表示されないことがありますが、拡大表示を解除すると、もとの状態に戻ります。
- 拡大していると水平な縞が画面上に現れることがあります。

映像を静止させる

リモコンの**静止**ボタンを押すと「静止」ダイアログが表示され、映像が静止します。「スクリーン」メニューの「メッセージ」(図2-21)を「表示しない」に設定していると、「静止」ダイアログは表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度**静止**ボタンを押してください。



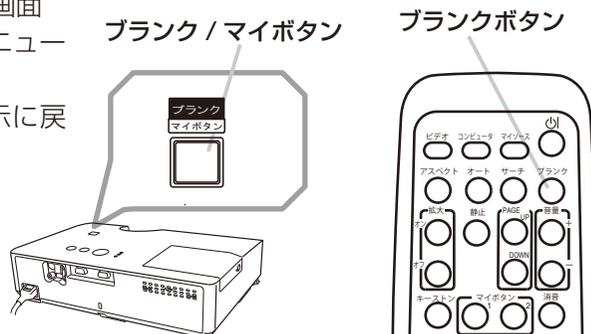
お知らせ

- 操作パネルのボタンを押したときにも、映像の静止を終了します。
- 本機は同じ映像を長時間表示し続けると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがあります。映像を静止させたまま放置したり、終了するのを忘れてしまわないようご注意ください。
- 静止している映像が劣化してみえるかもしれませんが、故障ではありません。

映像を一時的に消す (ブランク)

リモコンの**ブランク**ボタンまたは操作パネルの**ブランク**/マイボタンを押すと、映像が消えてブランク画面が表示されます。ブランク画面は「スクリーン」メニューの「ブランク」(図2-19)で設定できます。もう一度**ブランク**ボタンを押すともとの映像表示に戻ります。

操作パネルの**ブランク**/マイボタンは、マイボタン機能によって機能を変えて使用することができます。「その他」メニューの「マイボタン」をご参照ください(図2-27)。



お知らせ

- 操作パネルのボタンを押したときにもブランク画面の表示を終了します。また、リモコンの他のボタンを押した時にもブランク画面の表示を終了することがあります。
- 映像をブランク画面を表示しても音声は消えません。あらかじめ音量を調節するか、音声を消してからブランク画面の表示を実行してください。
- ブランク機能と音声の消音機能を同時にお使いになりたい場合は、「その他」メニューの「マイボタン」でAVミュートを割り当ててご使用いただけます(図2-27)。

お守りください

- レンズに何かを張り付けたり、密着させて置いたりしないでください。
高温となってレンズ面が融け、映像不良の原因となることがあります。本機のランプを点灯させたまま、投写映像を消したい場合は、上記のブランク機能をご使用ください。

点検とお手入れ

ランプを交換する

ランプについてのご注意



警告



感電注意



高温注意



破裂注意

本機のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです

このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命を終える特性があります。寿命の長さはランプによって大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。

ランプが破裂すると、本機の内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが本機の通風口から出たりすることがあります。ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。

●ランプが破裂したら、使用を中止して電源プラグを抜き、販売店に連絡する

飛び散ったガラス片によってけがや本機の内部を傷つける原因となることがあります。

▶ランプが破裂した、または破裂したおそれのある場合は、必ず電源を切って電源プラグを抜き、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。

▶ランプの破裂によって水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが排出されることがあります。排気を十分にして、目や鼻、口から入らないようご注意ください。万一、入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

●ランプの交換は、電源プラグを抜き、十分冷ましてから行う

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態でランプを取り扱おうと、やけどやランプが破裂する原因となります。

▶ランプの交換は、初めに本機の電源を切り、電源プラグを抜いて放置し、ランプや本機内部を十分冷ましてください。

●天井設置や高所設置では、ランプの交換は販売店にご依頼ください。

万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業には転落などの危険が伴います。

▶ランプが破裂していない場合でも、ランプの交換は必ず販売店にご依頼ください。ランプカバーは開けないでください。

●ランプは指定品を使用する

ランプを交換するときは、本書に指定された型名とご使用になるランプの型名が一致することを事前にご確認ください。本機の仕様と合わないランプを使用すると、火災や故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。

●ランプやランプカバーは正しく取り付け使用する。

正しく取り付けられていなかったりネジがゆるんでいたりすると、ランプカバーやランプが外れて、けがや故障の原因となることがあります。

▶ランプを交換した後は、固定用のネジがしっかり締められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。

●ランプは取扱いに注意し、正しく使用してください。

ランプは衝撃を加えたり傷つけたり、寿命を超えてご使用になったりすると、破裂したり、不点灯となることがあります。ランプは丁寧に取扱ってください。

▶古いランプ（中古品）は破裂し易いのでご使用にならないでください。

▶映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりしたら、お早めに交換してください。

●使用済みのランプは正しく廃棄してください。

本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。

ランプを交換する(つづき)

ランプの交換方法

ランプは使用時間の経過にともない、徐々に映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりすることがあります。また、ランプの寿命にはばらつきがあり、ご使用開始から比較的短時間で破裂したり、不点灯となったりすることがあります。あらかじめ交換用のランプをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。

交換用のランプは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

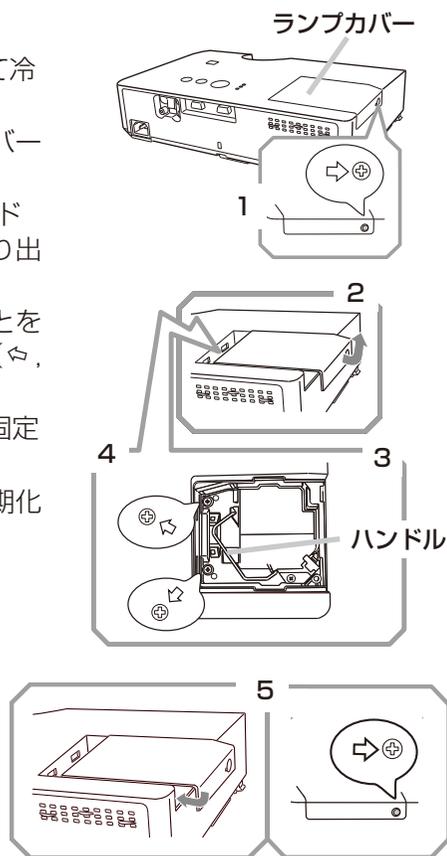
型名：CP-RX82J 001 (DT01151)

次のような場合は、ランプユニットの交換を必ず販売店へご依頼ください。

- ・ランプが破裂した、あるいは破裂したおそれがある場合
- ・プロジェクターが天井(天吊り)や高所に設置されている場合

■ランプを交換する

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、45分以上放置して冷ましてください。
2. 右図を参考に、ランプカバーのネジ(⇄)を緩め、ランプカバーを外してください。
3. ランプを固定している2つのネジ(↖, ↗)を緩め、ハンドルを持って、ランプをまっすぐにゆっくりと引き上げて取り出してください。絶対に他のネジは緩めないでください。
4. 用意した新しいランプの型名が、上記の型名と一致することをご確認のうえ、前のランプと同じように入れ、2つのネジ(↖, ↗)をもとのように締めて固定してください。
5. ランプカバーを閉じて、もとのようにネジ(⇄)を締めて固定してください。
6. 以下の手順に従い、本機のメニューを使ってランプ時間を初期化してください。
 - (1) 本機の電源を入れ、「詳細メニュー」(☰2-3)を表示させてください。
 - (2) カーソルボタン▼/▲で「その他」メニューを選択し、カーソルボタン▶を押してください。
 - (3) カーソルボタン▼/▲で「ランプ時間」を選択し、カーソルボタン▶を押すと、ランプ時間を初期化するダイアログが現れます。
 - (4) ダイアログの「OK」を選んでカーソルボタン▶を押すと、ランプ時間が初期化されます。



お守りください

- ランプを取り出したり取り付けたりする際、本機の内部に触れないでください。故障、映像不良の原因となることがあります。
- ランプ時間の初期化は正しく行ってください。ランプユニットを交換したら必ずランプ時間を初期化してください。ランプを交換せずにランプ時間を初期化しないでください。ランプ時間は、初期または前回ランプ時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。ランプ時間の初期化を正しく行わないと実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。
- ランプ交換の際は、エアフィルターも交換してください(☰1-37)。本機の交換用ランプに付属のエアフィルターをご使用いただけます。

エアーフィルターを掃除／交換する

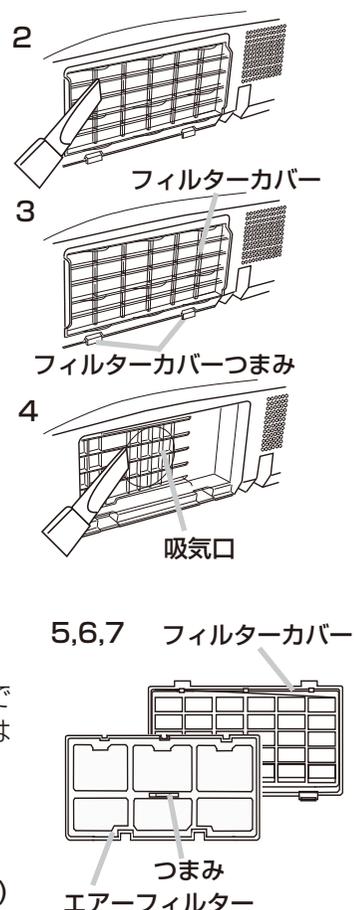
エアーフィルターは、本機内部の換気と正常な動作を維持するため、定期的な確認とお手入れをお願いいたします。「エアーフィルターの掃除をお願いします」などのメッセージが現われたときや、インジケータが点灯した場合は、できるだけ早くお手入れしてください。エアーフィルターが破損したり、汚れがひどくて掃除しきれない場合はエアーフィルターを取り替えてください。交換用のエアーフィルターは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

型名：CP-RX82J 002 (NJ27422)

ランプを交換するときは、エアーフィルターも交換してください。本機の交換用ランプには、本機用のエアーフィルターが付属しています。

以下の手順に従って交換してください。

1. 本機の電源を切って (■1-27) 電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. 掃除機を使って、フィルターカバーとその周辺をお掃除してください。
3. フィルターカバーつまみを引き上げてフィルターカバーを取り外してください。
4. 掃除機を使って、本機の吸気口 (エアーフィルターが取り付けられていた奥) とエアーフィルターの外側をお掃除してください。
5. フィルターユニットは、フィルターカバーとフィルターカバーにセットされたエアーフィルターから構成されています。フィルターカバーをもって、エアーフィルターのつまみを引いて取り外してください。
6. エアーフィルターが吸い込まれないように持って、両面を掃除機で清掃します。エアーフィルターが痛んでいたり汚れがひどい場合は新しいものに取り替えてください。
7. フィルターカバーにエアーフィルターを戻してください。
8. フィルターユニットを元のように本体に取り付けてください。
9. 本機の電源を入れ、「簡単メニュー」の「フィルター時間」 (■2-5) をメニュー表示に従って操作し、フィルター時間を初期化してください。



- (1) **メニュー** ボタンを押して、メニューを表示させてください。
- (2) **▼ / ▲** ボタンを押して「フィルター時間」のところで **▶** ボタンを押すと、ダイアログが現れます。
- (3) ダイアログの「OK」を選んで **▶** ボタンを押すと、フィルター時間が初期化されます。

(次ページにつづく)

警告



電源プラグを
コンセント
から抜け

● エアフィルターをお手入れする前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

エアフィルターをお手入れする前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態でのご扱いはやけどの原因となります。



● エアフィルターは正しく使用し、定期的にお手入れする

エアフィルターがほこりや汚れで詰まったり、正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

- ▶ フィルターカバーやエアフィルターを外した状態では使用しないでください。
- ▶ エアフィルターが痛んでいたり汚れがひどい場合は新しいエアフィルターに交換してください。その際、必ず指定のエアフィルターを正しくご使用ください。

お守りください

- フィルター時間の初期化は正しく行ってください。エアフィルターをお掃除または交換したら必ずフィルター時間を初期化してください。エアフィルターをお掃除または交換せずにフィルター時間を初期化しないでください。フィルター時間は、初期または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。フィルター時間の初期化を正しく行わないと実際のエアフィルターの使用時間とフィルター時間の値が一致しません。

お知らせ

- 「フィルター掃除通知」機能（2-29）をご使用になると、お掃除または交換時期をお知らせするメッセージを表示させることもできます。
- 内部の温度が上がりすぎる事を防ぐため、「吸気口をチェックしてください」などのメッセージが表示されたり、本機の電源が切れる場合があります。

その他のお手入れ

内部の点検とお手入れ

内部にほこりがたまった状態で本機を使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、1年に1度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

レンズのお手入れ

レンズが傷ついたり、くもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となります。

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）でレンズを軽く拭いてください。レンズを傷つけないように、また、素手で触らないようにご注意ください。

キャビネットとリモコンのお手入れ

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく放置して冷ましてください。
2. 本機が十分に冷えていることを確認し、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

警告



●お手入れの前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

お手入れのまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。使用中や使用後しばらくは、レンズやその周辺は高温になります。電源プラグを接続したままお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。



●ランプ点灯中はレンズをのぞかない

ランプの点灯中はレンズから強い光が出ます。視力障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

注意



●レンズのクリーニングに掃除機を使わない

レンズのクリーニングに掃除機を使うと故障の原因となる場合がありますので使用しないでください。



●本書に指定されているもの以外の洗剤、薬品は使用しない

表面が変質したり、塗装がはがれることがあります。水、または水で薄めた中性洗剤はキャビネットとリモコンのお手入れ以外には使用しないでください。

▶スプレーはご使用にならないでください。ガスや霧が本機の内部に入って、故障などの原因となることがあります。

▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。



●本機内部に水や洗剤を入れない

万一、水や洗剤が入ってしまったら、販売店にご連絡ください。



●本機（キャビネット、レンズ）およびリモコンを傷つけない

硬いものを当てたり、こすったりして傷つけないようにご注意ください。破損や故障、映像不良の原因となることがあります。



●内部の点検とお手入れは、販売店に依頼する

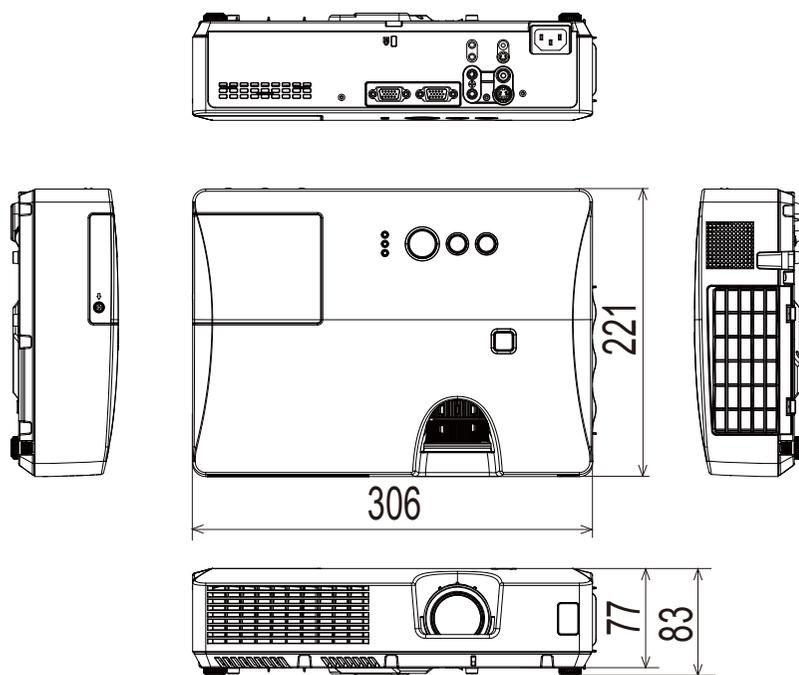
お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

仕様

一般仕様

項目	仕様
投写方式	透過型液晶パネル3板式
表示素子 (液晶パネル)	アスペクト比 4:3 786,432画素 (1024 × 768) × 3枚
投写レンズ	手動ズーム、手動フォーカス
光源	高圧水銀ランプ (UHB) 200W
スピーカー	1W モノラル
端子	コンピュータ信号入力 コンピュータ入力 Dサブ15ピンミニ×1 コンピュータ信号出力 モニタ出力 Dサブ15ピンミニ×1 ビデオ信号入力 S-ビデオ ミニDIN4ピン×1 ビデオ RCA×1 音声信号入力 音声入力 ステレオミニ×1 音声信号出力 音声出力 ステレオミニ×1
使用温度範囲	5 ~ 35℃
電源	AC100V, 50/60Hz / 2.9A
消費電力	290W
標準外形寸法	W 306mm × H 77mm × D 221mm
質量	約 2.2kg
別売品	交換用ランプ： CP-RX82J 001 (DT01151) 交換用エアフィルター： CP-RX82J 002 (NJ27422) 天吊り用ブラケット：HAS-X1 高天井用パイプ金具：HAS-304H 低天井用金具：HAS-204L レーザーポインター付リモコン：RC-RO08 ※その他については販売店にご相談ください。

外形寸法



[単位 : mm]

取扱説明書 - 詳細版 -

液晶プロジェクター

CP-RX82J (形名 CP-RX82)

【応用編】

応用編では、詳細な設定や調節を行うメニュー等について説明します。



警告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

もくじ



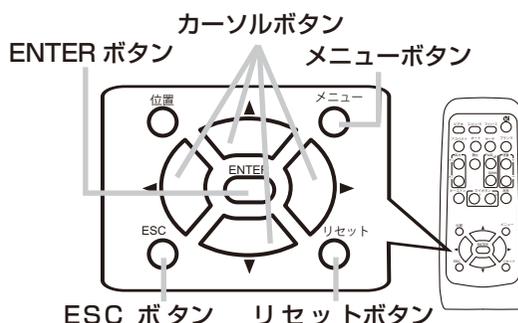
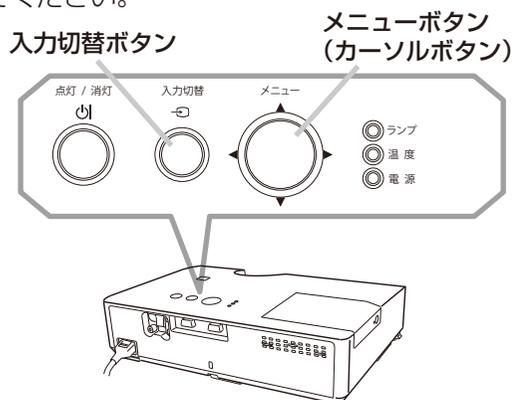
設定・調節	2 - 2
メニュー機能の使い方	2 - 2
簡単メニュー	2 - 4
映像メニュー	2 - 6
表示メニュー	2 - 9
入力メニュー	2 - 12
設置メニュー	2 - 16
オーディオメニュー	2 - 19
スクリーンメニュー	2 - 20
その他メニュー	2 - 25
セキュリティメニュー	2 - 32

設定・調節

メニュー機能の使いかた

詳細な設定や複雑な調節には、メニュー機能をご使用ください。

本機には、よく使われる機能をまとめた「簡単メニュー」と、「詳細メニュー」があります。詳細メニューは、「映像」「表示」「入力」「設置」「オーディオ」「スクリーン」「その他」「セキュリティ」「簡単メニュー」の9つの機能別メニューに分かれています。どのメニューも基本操作は同様です。下記をご参考に操作してください。



メニューの表示と操作ボタン

本機のメニュー操作には、主に上図のボタンを使用します。操作パネルのメニューボタン(▲/▼/◀/▶)は、各々カーソルボタンとしてご使用いただけます。また、入力切替ボタンは多くの場合にENTERボタンと同様にご使用いただけます。

はじめに操作パネルのメニューボタンのいずれか、またはリモコンのメニューボタンを押してください。「簡単メニュー」または「詳細メニュー」のどちらか、前回で使用になっていたほうのメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。メニューでは、現在選択されている項目が橙色の反転表示(または枠)でカーソル表示されます。

メニュー操作を終了するには、もう一度リモコンのメニューボタンを押すか、「終了」を選んでカーソルボタン◀またはENTERボタンを押します。また、なにも操作しない状態が約30秒間続くと、自動的に終了します。

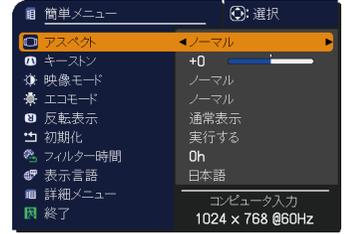
お知らせ

- メニュー表示中に位置ボタンを押すと、カーソルボタン◀/▶/▲/▼でメニューの表示位置を調節することができます。

メニューの操作

■簡単メニューの操作

- カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「詳細メニュー」に切り替えたいときは、「詳細メニュー」を選びます。
- カーソルボタン◀ / ▶で、選択した項目の設定、調節および実行することができます。



簡単メニュー

■詳細メニューの操作

- カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。「簡単メニュー」に切り替えたいときは、「簡単メニュー」を選びます。
- カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目をカーソルボタン▲ / ▼で選択してください。
- カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、選択した項目を実行、もしくは操作するためのダイアログやサブメニューが表示されます。画面表示に従って操作してください。



詳細メニュー

応用編

お知らせ

- 受信信号によっては、いくつか実行できない機能があります。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀または **ESC** ボタンを押してください。ただし、いくつかの項目（例：言語、音量）はリセットできません。
- 詳細メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、カーソルボタン◀または **ESC** ボタンを押してください。

■メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について



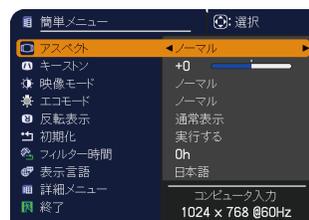
表示	意味
終了	これを選択すると、メニュー操作を終了します。メニューボタンを押すことと同じになります。
戻る	これを選択すると、前のメニューに戻ります。
初期化しない/いいえ	これを選択すると、現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。
OK / はい	これを選択すると、用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。

簡単メニュー

「メニュー機能の使い方」(図2-2,3)に従い、簡単メニューを表示してください。

簡単メニューでは、下表の項目を操作することができます。

カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容																																
アスペクト (画面の縦横比)	カーソルボタン◀/▶で、アスペクト(画面の縦横比)を選択できます。「表示」メニュー(図2-9)の「アスペクト」をご参照ください。																																
キーストン	カーソルボタン◀/▶で、垂直キーストン(画面の台形ひずみ)の補正量を調節できます。「設置」メニューの「キーストン」(図2-16)をご参照ください。																																
映像モード	カーソルボタン◀/▶で、映像モードを選択できます。 映像モードは、ガンマモードと色温度モードの組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。																																
	ノーマル ↔ シネマ ↔ ダイナミック ↔ 黒板(黒) ← ↳ デイタイム ↔ ホワイトボード ↔ 黒板(緑) ←																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>映像モード</th> <th>ガンマ</th> <th>色温度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノーマル</td> <td>デフォルト-1</td> <td>中</td> <td>標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。</td> </tr> <tr> <td>シネマ</td> <td>デフォルト-2</td> <td>低</td> <td>フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。</td> </tr> <tr> <td>ダイナミック</td> <td>デフォルト-3</td> <td>高</td> <td>明るさを重視した映像です。</td> </tr> <tr> <td>黒板(黒)</td> <td>デフォルト-4</td> <td>ハイブライト-1</td> <td>黒板(黒)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。</td> </tr> <tr> <td>黒板(緑)</td> <td>デフォルト-4</td> <td>ハイブライト-2</td> <td>黒板(緑)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。</td> </tr> <tr> <td>ホワイトボード</td> <td>デフォルト-5</td> <td>中</td> <td>スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。</td> </tr> <tr> <td>デイタイム</td> <td>デフォルト-6</td> <td>ハイブライト-3</td> <td>明るい室内でのご利用に適しています。</td> </tr> </tbody> </table>	映像モード	ガンマ	色温度	内容	ノーマル	デフォルト-1	中	標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。	シネマ	デフォルト-2	低	フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。	ダイナミック	デフォルト-3	高	明るさを重視した映像です。	黒板(黒)	デフォルト-4	ハイブライト-1	黒板(黒)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。	黒板(緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2	黒板(緑)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。	ホワイトボード	デフォルト-5	中	スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。	デイタイム	デフォルト-6	ハイブライト-3	明るい室内でのご利用に適しています。
	映像モード	ガンマ	色温度	内容																													
	ノーマル	デフォルト-1	中	標準的な画質で、幅広くお楽しみ頂けます。																													
	シネマ	デフォルト-2	低	フィルムライクな階調表現を重視した映像、映画コンテンツをご覧になる場合に適切です。																													
	ダイナミック	デフォルト-3	高	明るさを重視した映像です。																													
	黒板(黒)	デフォルト-4	ハイブライト-1	黒板(黒)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。																													
黒板(緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2	黒板(緑)に投映された映像や文字を通常のスクリーンに投映した色に近づけます。																														
ホワイトボード	デフォルト-5	中	スクリーンからの光の反射を低減するため、明るさを抑えた映像です。																														
デイタイム	デフォルト-6	ハイブライト-3	明るい室内でのご利用に適しています。																														
お知らせ ●ガンマモードと色温度モードの組み合わせが上記の映像モードと異なる場合、メニュー上の表示は「カスタム」と表示されます。「映像」メニュー(図2-6,7)の「ガンマ」および「色温度」をご参照ください。 ●選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。																																	

設定項目	操作内容
エコモード	カーソルボタン◀ / ▶で、本機使用中のエコモードを選択できます。「設置」メニュー (☞2-16) の「エコモード」をご参照ください。
反転表示	カーソルボタン◀ / ▶で、映像を上下左右に反転させることができます。「設置」メニューの「反転表示」 (☞2-16) をご参照ください。
初期化	<p>「簡単メニュー」の設定を一括して初期化できます。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、確認のためのダイアログが表示されます。</p> <p style="text-align: center;">初期化しない → OK</p> <p>初期化を実行するときには、カーソルボタン▶を押して「OK」を選択してください。</p> <p style="text-align: center;">お知らせ</p> <p>● 「フィルター時間」と「表示言語」は初期化されません。</p>
フィルター時間	<p>メニューに表示されている数字は、エアーフィルターの使用時間です。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、フィルター時間初期化確認のためのダイアログが表示されます。</p> <p>フィルター時間の初期化については、「その他」メニュー (☞2-24)「フィルター時間」 (☞2-26) をご参照ください。</p>
表示言語	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、メニューなどのオンスクリーン表示の表示言語を選択できます。</p> <p>「スクリーン」メニューの「表示言語」 (☞2-19) をご参照ください。</p>
詳細メニュー	<p>この機能は、「詳細メニュー」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「簡単メニュー」を「詳細メニュー」（「映像」、「表示」、「入力」、「設置」、「オーディオ」、「スクリーン」、「その他」、「セキュリティ」メニュー）に切り替えられます。</p> <p>「詳細メニュー」には、より多彩な機能を備えております。お好みに合わせた調節や設定にして、ご活用ください。(☞2-6 ~ 36)</p>
終了	カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押すと、操作を終了し、メニューを閉じます。

表示メニュー

「表示」メニューでは下表の項目を操作することができます。
 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または
ENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表および
 メニュー表示に従って操作してください。

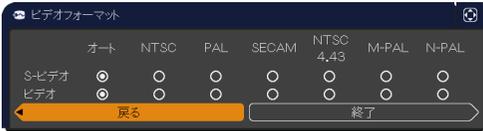


設定項目	操作内容
アスペクト (画面の縦横比)	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、アスペクト (画面の縦横比) を選択できます。</p> <p>■コンピュータ信号を受信している時</p> <p>▶ ノーマル → 4:3 → 16:9 → 16:10 ◀</p> <p>■ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信している時</p> <p>▶ 4:3 → 16:9 → 14:9 ◀</p> <p>■信号の入力がないとき</p> <p>4:3 (固定)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ノーマル」 は入力信号そのままの縦横比です。
オーバースキャン	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、オーバースキャン (表示率) を調節できます。</p> <p>小さく (画像は大きくなります) ↔ 大きく (画像は小さくなります)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この項目はビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ選択できます。 ● 表示率を大きくしすぎると、画面のふちにノイズが現れる場合があります。この場合には表示率を小さくしてください。

表示メニュー（つづき）

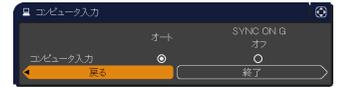
設定項目	操作内容
垂直位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。 下へ ↔ 上へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置を動かすすぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、リセットボタンを押して、「垂直位置」を初期設定に戻してください。 ●ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(2-9) の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。
水平位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。 右へ ↔ 左へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。このような場合には、リセットボタンを押して、「水平位置」を初期設定に戻してください。 ●ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(2-9) の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合、調節できません。
クロック位相	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。 右へ ↔ 左へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ、調節が可能です。
水平サイズ	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。 小さく ↔ 大きく</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。 ●大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。このような場合には、リセットボタンを押して「水平サイズ」を初期設定に戻してください。 ●調節時に映像が劣化してみえる場合がありますが、故障ではありません。

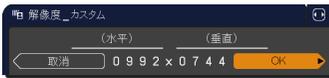
設定項目	操作内容
オートアジャスト 実行	<p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、画面の自動調整を実行できます。</p> <p>■コンピュータ信号を受信している場合 「垂直位置」(M2-10)、「水平位置」(M2-10)、「クロック位相」(M2-10)が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。</p> <p>■ビデオ信号、S-ビデオ信号を受信している場合 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(M2-13)が「オート」に設定されていると、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。</p> <p>■コンポーネントビデオ信号を受信している場合 「垂直位置」、「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。「クロック位相」が自動的に調節されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ●ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。 ●コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の縁に黒いフレームが映る場合があります。 ●「その他」メニュー(M2-24)の「特別な設定」—「オートアジャスト」(M2-29)で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。

設定項目	操作内容
<p>ビデオ フォーマット</p>	<p>S-ビデオ端子とビデオ端子から受信する映像信号の、ビデオフォーマット（信号方式）を設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、設定する入力端子を選択します。</p>  <p>(2) カーソルボタン◀/▶で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。</p> <p>オート ↔ NTSC ↔ PAL ↔ SECAM ↓ ↑ N-PAL ↔ M-PAL ↔ NTSC 4.43</p> <p>「オート」を選択すると、入力信号に最適なビデオフォーマットが自動的に選択されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、ビデオ端子、S-ビデオ端子からの映像信号を受信しているときのみ動作します。 ●入力信号によっては正しく機能しない場合があります。画像が不安定な場合（画像が乱れる、色が見つからないなど）には、オート以外で、入力信号に合った信号モードを選択してください。 ●「オート」の実行には 10 秒程度の時間がかかる場合があります。

入力メニュー（つづき）

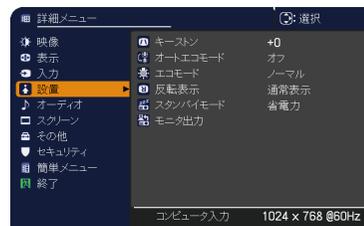
設定項目	操作内容
<p>コンピュータ 入力</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、コンピュータ入力端子から入力される映像信号（コンピュータ信号）の受信モードを設定できます。</p> <p>オート ↔ SYNC ON G オフ</p> <p>「オート」モードに設定すると、その端子からの SYNC. ON G 信号、およびコンポーネントビデオ信号を受信できるようになります。コンピュータ入力 端子へのコンポーネントビデオ信号入力の接続については、(P3-5)を参照してください。</p> <p>「オート」モードで映像が正しく表示されない、または正常な入力信号が検出されない場合には、「SYNC ON G オフ」モードに設定してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●正常な入力信号が検出されないときに「SYNC ON G オフ」モードに設定する場合は、一旦信号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してください。
<p>フレームロック</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、コンピュータ入力端子から入力される映像信号の、フレームロック機能の有効 / 無効を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>フレームロック機能は、動画をよりスムーズに表示する為の機能です。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この機能は、垂直周波数が 50 ~ 60Hz の信号を受信しているときのみ有効です。 ●この機能により画質が劣化することがあります。この場合には「無効」にしてください。



設定項目	操作内容
<p>解像度</p>	<p>コンピュータ入力 端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択します。</p> <p>■「オート」: 入力信号に適切な解像度が自動的に設定されます。</p> <p>■「標準」: 設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>■「カスタム」: 「カスタム」を選択すると、「解像度_カスタム」設定ダイアログが表示されます。カーソルボタンの◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。 入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▶またはENTERボタン（または入力切替ボタン）を押してください。「解像度設定を変更しますか?」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、▶ボタンを押してください。設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン◀またはENTERボタン（または入力切替ボタン）を押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <p>●すべての解像度が保証されているわけではありません、信号によっては正しく動作しない場合があります。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-end;">  <p style="text-align: center;">標準</p>  <p style="text-align: center;">カスタム</p>   </div>

設置メニュー

「設置」メニューでは、下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
キーストン	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、垂直キーストン(垂直方向の台形ひずみ)の補正量を調節できます。</p> <p>画像の下側を小さく ↔ 画像の上側を小さく</p> <p>お知らせ</p> <p>●キーストン補正の調節範囲は、入力信号によって異なります。また、入力信号によっては正しく動作しないことがあります。</p>
オートエコモード	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、オートエコモードを切り替えられます。</p> <p>オン ↔ オフ</p> <p>「オン」を選択すると、「エコモード」の設定にかかわらず起動時は「エコ」モードに設定され、起動時に数十秒間「オートエコモード」と画面に表示します。</p>
エコモード	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、エコモードを切り替えられます。</p> <p>ノーマル ↔ エコ</p> <p>「エコ」モードを選択すると、本機使用中の消費電力を抑え、動作音を低減できます。</p> <p>お知らせ</p> <p>●「エコ」モードでは画像の明るさもやや抑えられます。</p>
反転表示	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、画面の反転表示モードを選択できます。</p> <p>通常表示 ↔ 左右反転 ↔ 上下反転 ↔ 上下左右反転</p> <p>例</p>

設定項目	操作内容																		
<p>スタンバイモード</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、本機がスタンバイ状態であるときの消費電力モードを選択できます。</p> <p>通常 ↔ 省電力</p> <p>「省電力」を選択すると、消費電力を下げることはできますが、スタンバイ時の機能が以下のように制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - モニタ出力端子から信号は出力されません。 - 「オーディオ」メニュー (2-18) の「音声入力設定」の設定に関わらず、音声出力端子から信号が出力されなくなります。 																		
<p>モニタ出力</p>	<p>モニタ出力端子からの映像信号の出力を、画面に表示する映像信号ごとに設定できます。</p> <p>1) カーソルボタン▲/▼で、設定する映像信号の入力端子を選択してください。本機がスタンバイ状態のときに出力される映像信号を設定するには、「スタンバイ」を選択してください。ただし、「スタンバイモード」(2-18 上記) が「省電力」に設定されているときは、「スタンバイ」を選択できません。</p> <div data-bbox="934 633 1286 768" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>モニタ出力</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">コンピュータ入力</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">オフ</td> </tr> <tr> <td>コンピュータ入力</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="radio"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>テレビデオ</td> <td style="text-align: center;"><input type="radio"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>ビデオ</td> <td style="text-align: center;"><input type="radio"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>スタンバイ</td> <td style="text-align: center;"><input type="radio"/></td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="radio"/></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">戻る</td> <td style="text-align: center;">終了</td> </tr> </table> </div> <p>2) カーソルボタン◀/▶で、モニタ出力端子からの映像信号の出力を選択してください。</p> <p>コンピュータ入力 ↔ オフ</p> <p>「オフ」を設定すると、その端子からの映像信号を表示中は、モニタ出力端子から映像信号が出力されません。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モニタ出力端子から出力される信号は、コンピュータ入力端子に入力された映像信号のみです。 		コンピュータ入力	オフ	コンピュータ入力	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	テレビデオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ビデオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	スタンバイ	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	戻る		終了
	コンピュータ入力	オフ																	
コンピュータ入力	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>																	
テレビデオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																	
ビデオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																	
スタンバイ	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>																	
戻る		終了																	

オーディオメニュー

「オーディオ」メニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

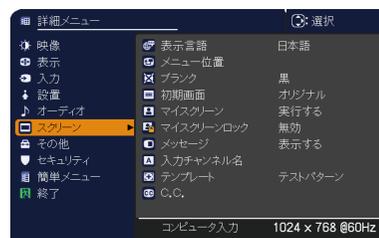


設定項目	操作内容
音量	カーソルボタン◀ / ▶で、音量を調節できます。 小さく (-側) ↔ 大きく (+側)
スピーカー	カーソルボタン▲ / ▼で、内蔵スピーカーのオン / オフを選択できます。 オン ↔ オフ オフが選択されているときは、内蔵スピーカーから音声が出力されません。
音声入力設定	<p>映像信号の入力端子ごとに内蔵スピーカーの出力、消音「✖」を設定します。音声出力端子には、この設定にかかわらず、音声入力の信号が出力されます。以下の (1) で選択した端子から入力された画像が画面に出力される時、(2) で内蔵スピーカー音声の出力 / 消音「✖」を設定します。</p> <p>1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する映像信号の入力端子を選択してください。本機がスタンバイ状態のときに音声出力端子の出力 / 消音を設定するには、「音声出力 スタンバイ」を選択してください。戻るを選んでカーソルボタン◀または ENTER ボタンを押すと前のメニューに戻ります。</p> <p>2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子での音声出力 / 消音「✖」を設定してください。</p> <p>音声入力 ↔ ✖</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機がスタンバイ状態のときには、内蔵スピーカーから音声が出力されません。 ●「スタンバイモード」(2-17) で「省電力」が選択されている場合は「音声出力スタンバイ」を選択できません。 ●消音「✖」を設定すると、音声信号が出力されません。また、音量、消音等の機能も動作しません。 ●消音「✖」を選んだ場合メニューの「C.C.」 - 「ディスプレイ」が「オート」に設定されていれば、C.C. 対応の NTSC 方式の S-ビデオ信号、ビデオ信号またはコンピュータ入力に入力される 480i@60 を受信すると、自動的に C.C. 機能が有効になります。



スクリーンメニュー

「スクリーン」メニューでは下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。

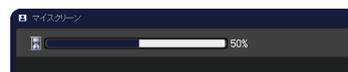
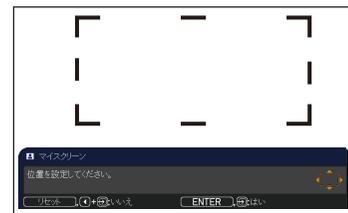
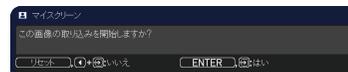


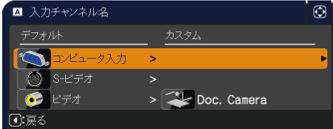
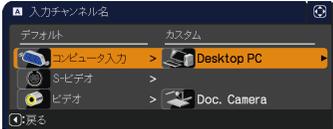
応用編

設定項目	操作内容
表示言語	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー表示言語を選択できます。選択した表示言語を適用するには、ENTER または入力切替ボタンを押してください。
メニュー位置	カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、メニュー位置を調節できます。操作を終了するには、リモコンのメニューボタンを押すか、約 10 秒間操作しないと終了します。
ブランク	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、ブランク画面を選択できます。</p> <p>「ブランク画面」は、操作パネルのブランク / マイボタン、またはリモコンのブランクボタンを押したときに投映される映像です。</p> <p style="text-align: center;"> マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 青 ↔ 白 ↔ 黒 </p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「マイスクリーン」: 「マイスクリーン」(2-20)で登録したお好みの映像が表示されます。 ■ 「オリジナル」: 本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。 ■ 「青、白、黒」: 各色の無地画面が表示されます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。
初期画面	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、初期画面を選択できます。「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない(入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など)ときに投映される映像です。</p> <p style="text-align: center;"> マイスクリーン ↔ オリジナル ↔ 表示しない </p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「マイスクリーン」: 「マイスクリーン」(2-20)で登録したお好みの映像が表示されます。 ■ 「オリジナル」: 本機の標準映像が表示されます。投映してご確認ください。 ■ 「表示しない」: 黒の無地画面が表示されます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機は、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分でブランク画面に変わります。「ブランク」(上記)で「マイスクリーン」または「オリジナル」が選択されている場合は、黒の無地画面に変わります。 ● 「セキュリティ」メニューで、マイスクリーンパスワード機能が有効に設定(2-32)されているときは、初期画面は「マイスクリーン」に固定されます。

スクリーンメニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>マイスクリーン</p>	<p>ブランク画面や初期画面用に、お好みの画像（マイスクリーン）を登録することができます。あらかじめ、登録したい映像信号を入力・選択してください。</p> <p>(1) 「マイスクリーン」を選択してダイアログを表示させ、「マイスクリーン」に登録したい映像が画面に表示されるのを待って ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押してください。画面が静止し、登録する画像の位置を指定する為の枠が表示されます。タイミングを間違えた、他の画面に登録したい、という場合はリセットボタンを押してください。枠が消えて画面の静止が解除されます。ENTER ボタンで映像を静止させる画面に戻ります。</p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼/◀/▶で登録する画像の位置を調節してください。（受信中の信号によっては、位置調節ができない場合があります。）</p> <p>位置調節が終わったら、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押して画像の登録を開始してください。</p> <p>画像の位置を元に戻したい、または前のダイアログに戻りたい場合はリセットボタンを押してください。</p> <p>登録には数分ほどかかります。</p> <p>登録が完了すると、登録した画像と「マイスクリーンの画像登録が完了しました」のメッセージが数秒間表示され、通常画面に戻ります。登録に失敗すると、「画像の取り込みエラーです。もう一度やり直してください。」のメッセージが数秒間表示されて通常画面に戻りますので、最初からやり直してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「マイスクリーンロック」（📖 下記）が「有効」に設定されているときは選択できません。 ●この項目は、「セキュリティ」メニューのマイスクリーンパスワード機能（📖 2-32）が有効に設定されているときは選択できません。
<p>マイスクリーン ロック</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、マイスクリーンの上書き防止機能を設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この項目は、「セキュリティ」メニュー（📖 2-31）の「マイスクリーンパスワード」（📖 2-32）が有効に設定されているときは選択できません。



設定項目	操作内容
<p>メッセージ</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、メッセージモードを選択できます。</p> <p>表示する ↔ 表示しない</p> <p>「表示する」を選択すると、以下のメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オート実行中」 ・「信号が入力されていません」 ・「信号は同期範囲外です」 ・「入力信号が不安定です」 ・「検索中…」 ・「信号検出中…」 ・「オート エコモード」 ・「操作できないボタンが入力されました」 ・入力切替による入力信号表示 ・「アスペクト」の変更による縦横比の表示 ・「マイメモリー」の変更による表示 ・「映像モード」の変更による表示 ・静止ボタンを押したときの「静止」 ・「テンプレート」の変更による表示 <p>お知らせ</p> <p>● 「表示しない」に設定したときは、静止ボタンを押して映像を静止させても「静止」のメッセージが表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度静止ボタンを押す必要があります。静止ボタンを押して映像を静止させていることを忘れないようご注意ください。</p>
<p>入力 チャンネル名</p>	<p>本機の入力端子に名前（チャンネル名）を割り当てることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) カーソルボタン▲ / ▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択してください。 (2) カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「入力チャンネル名」ダイアログが表示されます。以下の手順にしたがって、チャンネル名を登録してください。 (3) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で端子に割り当てたいアイコンを選択します。アイコンを選択するとそのアイコンに応じて端子の名称は自動的に変更されます。ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押すと設定されます。 (4) カーソルボタン▲ / ▼で、端子のアイコンにつける番号を選択します。空白（番号未設定）、1、2、3、4から選択できます。ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押すと設定されます。 (5) チャンネル名を決定するには、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押します。端子の名称を変更したい場合は、「名称変更」を選択して、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押してください。チャンネル名入力ダイアログが表示されます。 <p>（次ページへつづく）</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-end;">     </div>

設定項目	操作内容
<p>入力 チャンネル名 (つづき)</p>	<p>(6) 端子の名称を入力する 最初の行（下線付き）に現在の名称が表示されます。カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で各文字を選択し、ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押して入力してください。リセットボタン（またはカーソルボタン◀と入力切替ボタンの同時押し）で1文字削除することができます。また、「全消去」でENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押すと表示されている文字を全て削除することが出来ます。端子の名称は最大 16 文字入力できます。</p> <p>(7) 端子の名称を編集する カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、名称が表示されている行の、変更 / 削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して選択します。選択した文字を、名称を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(8) 端子の名称を保存する 名称の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶またはENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀またはENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押します。</p>
<p>テンプレート</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、テンプレート画面のパターンを選択できます。</p> <p>↙→テストパターン ↔ 点線 1 ↔ 点線 2 ↔ 点線 3 地図 2 ↔ 地図 1 ↔ 円 2 ↔ 円 1 ↔ 点線 4↖</p> <p>選択したテンプレート画面を表示させるには、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押してください。</p> <p>カーソルボタン◀で表示画面からパターン選択画面に戻ります。</p> <p>テンプレート画面は、テンプレート機能を割り当てられたマイボタン (2-27) を押すことによっても表示できます。表示はマイボタンを押す直前に選択していたテンプレート画面となります。</p> <p>「地図 1」および「地図 2」では、地図を水平にスクロールしたり、上下をさかさまにすることができます。「地図 1」または「地図 2」を表示中にリセットボタンを 3 秒間以上押してください。操作のガイダンスが表示されます。ガイダンスには、地図表示の以下の機能のボタン操作を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 北半球を上にして表示 カーソルボタン▲を押してから ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押す。 ■ 南半球を上にして表示 カーソルボタン▼を押してから ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押す。 ■ 表示した地図を水平にスクロールする カーソルボタン◀ / ▶を押してから ENTER ボタン（または入力切替ボタン）を押す。



その他メニュー

「その他」メニューでは下表の項目を操作することができます。
 カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または
ENTER ボタンを押すと操作を開始または実行できます。下表およ
 びメニュー表示に従って操作してください。



設定項目	操作内容
オートサーチ	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、入力信号の自動検索機能の有効 / 無効を設定できます。 有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」を選択すると、信号を受信できなくなったとき、本機は自動的に他の端子からの入力信号を検索し始めます。正常な入力信号が見つかったら、検索をやめ、その映像が表示されます。</p> <p>検索は、オートサーチ実行前に選択されていた入力端子から、正常な入力信号を検出するまで、次の順序で繰り返し行われます。</p> <p style="text-align: center;"> コンピュータ入力 ↑ ↓ ビデオ ← S-ビデオ </p>
ダイレクト パワーオン	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、ダイレクトパワーオン機能の有効 / 無効を設定できます。 有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、本機の使用（ランプ点灯中）に、テーブルタップのスイッチやプレーカーをご使用になって電源を切ったあと、再度電源を接続したときに、点灯 / 消灯 ボタンの操作無しで電源が入り、ランプが自動的に点灯します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 以下のいずれかの手順で電源を切った場合は、電源を接続しても、ランプは自動的に点灯しません。点灯 / 消灯 ボタンを押して点灯してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 点灯 / 消灯 ボタンでランプを消灯したとき。 ・ オートパワーオフ機能でランプが消灯したとき (2-25)。 ● ダイレクトパワーオン 機能で電源が入ってから約 30 分間、何も信号が入力されなかったり、何も操作をされなかった場合は、オートパワーオフ 機能が無効設定になっていても、自動的にランプが消灯します。

設定項目	操作内容
<p>オートパワーオフ</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、入力信号が検出されなくなってから自動的に電源を切る（ランプを消灯し、冷却動作を始める）までの待ち時間を設定できます。</p> <p style="text-align: center;">長く（最長 99 分） ↔ 短く（最短 1 分、0 分：無効）</p> <p>例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>オートパワーオフ機能は 1 ～ 99 分に設定されているときのみ有効です。0 に設定すると無効になります。</p> <p>有効に設定（待ち時間を設定）すると、入力信号が検出されない場合、設定時間経過後に自動的にランプが消灯します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンまたは操作パネルのボタンを押すか、または、Get コマンド以外のコマンドを送受信すると、その時点から再び設定時間が経過するまでオートパワーオフ機能は動作しません。 ● 手動で電源を切る方法については「電源を切る」（1-27）をお読みください。

その他メニュー（つづき）

設定項目	操作内容
ランプ時間	<p>「その他」メニューに表示されている「ランプ時間」の右側の値は、ランプの使用時間です。初期、または前回ランプ時間を初期化した時から現在までのランプの点灯時間を1時間単位で表示します。</p> <p>「ランプ時間」を選択してカーソルボタン▶またはリセットボタンを押すと、ランプ時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ランプ時間を初期化することができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>ランプ時間を初期化した後は、メニューの「ランプ時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ランプを交換したときは必ずランプ時間を初期化してください。ランプの交換に合わせて初期化しないと、実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。 ●ランプ交換の際は必ず「ランプを交換する」(☞1-35,36)をお読みください。
フィルター時間	<p>「その他」メニューに表示されている「フィルター時間」の右側の値は、エアーフィルターの使用時間です。初期、または前回フィルター時間を初期化した時からの現在までの本機の稼働時間を1時間単位で表示します。</p> <p>「フィルター時間」を選択してカーソルボタン▶またはリセットボタンを押すとフィルター時間初期化確認ダイアログが表示されます。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、フィルター時間を初期化することができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>フィルター時間を初期化した後は、メニューの「フィルター時間」の右側の値が「0」になっていることを確認してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エアーフィルターを掃除または交換したときは必ずフィルター時間を初期化してください。エアーフィルターの掃除または交換に合わせて初期化しないと、実際の稼働時間とフィルター時間の値が一致せず、また、エアーフィルターの掃除時期をお知らせするメッセージ(☞2-29)が正しく表示されません。 ●エアーフィルターの掃除または交換については、「エアーフィルターを掃除／交換する」(☞1-37)をお読みください。

設定項目	操作内容
マイボタン	<p>操作パネルのブランク / マイボタン及びリモコンの2つのマイボタン 1 / 2に機能を割り当てることができます。</p> <p>1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定するボタンを選択してカーソルボタン▶またはENTER ボタンでマイボタンセットアップダイアログを表示します。</p> <p>2) カーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、選択したボタンに割り当てる機能を選択し、ENTER または入力切替ボタンを押してください。</p> <p>◎コンピュータ入力： コンピュータ入力端子からの信号を選択します。</p> <p>◎S- ビデオ： S- ビデオ端子からの信号を選択します。</p> <p>◎ビデオ： ビデオ端子からの信号を選択します。</p> <p>◎インフォメーション： ブランク / マイボタン、もしくはマイボタン 1 / 2 を押すたびに、「システム__インフォメーション」ダイアログ（ランプ、エアフィルターの使用時間）「入力__インフォメーション」ダイアログ（受信中の入力信号情報）(M2-30) を表示します。</p> <p>◎マイメモリー：「マイメモリー」で記憶した設定のロード操作を行います。(M2-8)</p> <p>■マイメモリーを設定したときのマイボタン動作 設定データがメモリに保存されていれば、ブランク / マイボタンもしくはマイボタン 1/2 を押すたびに、順次設定データを呼び出し適用します。 ブランク / マイボタンもしくはマイボタン 1 / 2 を押したときの「映像」メニューの設定とロードしようとする設定が異なると、右のようなダイアログが現れます。</p>  <p>現在の設定を変えたくない場合はカーソルボタン▶を押してください。データをロードすると、現在の設定が上書きされます。 メモリに設定データが保存されていないときは「保存データ無し」のダイアログが表示されます。</p> <p>◎映像モード：映像モードを変更します。(M2-4)</p> <p>◎フィルターリセット：フィルター時間の初期化確認ダイアログを表示します。(M2-26)</p> <p>◎テンプレート：テンプレート選択画面の表示 / 非表示を切り替えます。(M2-22)</p> <p>◎AV ミュート：映像と音声のオン / オフを切り替えます。</p> <p>◎解像度：解像度のメニューの表示 / 非表示を切り替えます。</p> <p>◎エコモード：エコモード設定画面の表示 / 非表示を切り替えます。</p> <p>以下は操作パネルのブランク / マイボタンにのみ設定できます。</p> <p>◎ブランク：ブランク画面のオン / オフを切り替えます。</p> <p>◎静止：静止画面のオン / オフを切り替えます。</p> <p>◎音量：音量設定画面の表示 / 非表示を切り替えます。</p> <p>◎オート：画面の自動調整を実行します。</p>

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>キーロック カーソルボタン▲ / ▼で、操作パネルのボタンをロック設定できます。</p> <p>有効 ↔ 無効 「有効」を選ばると、点灯 / 消灯ボタン以外の操作パネルのボタンを押しても反応しなくなります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いたずらや誤操作を防止したい場合などに、この機能をご使用ください。リモコン操作には影響しません。
	<p>インフォメーション この機能は、「インフォメーション」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。 この項目を選択すると「入力_インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●"フレームロック"と表示されている場合は、フレームロック機能 (2-14) が動作していることを示します。 ●無信号と同期外れ状態では、この項目は選択できません。 ●「セキュリティ」メニュー (2-31) の「マイテキスト表示」 (2-36) が「有効」に設定されていると、「入力_インフォメーション」ダイアログには、登録したマイテキストも一緒に表示されます。
	<p>工場出荷設定 カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。</p> <p>初期化しない → OK</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マイスクリーンパスワード (2-32) が設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。また、マイスクリーン画像もクリアされません。 ●「ランプ時間」、「フィルター時間」、「表示言語」、「フィルター掃除通知」および「セキュリティ」の各項目の設定は初期化されません。

セキュリティメニュー

本機はセキュリティ機能を備えています。パスワード、暗証コードのお問い合わせの際に必要となりますので、保証書はかならず大切に保管してください。

1. 「パスワードを入力してください」を選びカーソルボタン▶を押してください。「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されます。
2. カーソルボタンの▲/▼/◀/▶で登録されているセキュリティパスワードを入力してください。工場出荷時には、パスワードは4510に設定されています。セキュリティパスワードは変更できます（下記）。カーソルを「パスワードを入力してください」ダイアログの右端に移動して、カーソルボタン▶（またはENTERボタン）を押し、「セキュリティ」メニューを表示します。

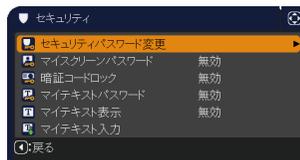
「セキュリティ」メニューでは、下表の項目を操作することができます。

■セキュリティパスワードを忘れた場合

1. 「パスワードを入力してください」ダイアログが表示されている間に、リセットボタン、または操作パネルのカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に3秒間押し、**「セキュリティパスワード / 照合コード」**ダイアログが表示されます。このダイアログには10桁のセキュリティパスワード照合コードが表示されています。
2. 10桁のセキュリティパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて

お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19

までご連絡ください。確認後パスワードをご連絡いたします。

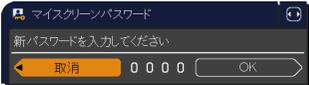
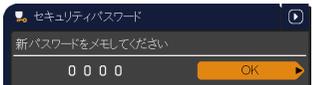


応用編

お知らせ

- 間違ったパスワードを3回入力すると、電源が切れます。これ以降は、パスワードの入力を間違えるたびに電源が切れます。
- 「セキュリティパスワード / 照合コード」ダイアログが表示されているときに55秒間何も入力しないと、ダイアログが閉じます。必要な場合は上記の操作をくりかえしてください。
- 工場出荷時のパスワードはできるだけ早めに変更してください。

設定項目	操作内容
セキュリティパスワード変更	<p>セキュリティパスワードを変更することができます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、「セキュリティ」メニューのセキュリティパスワード変更を選び▶を押してください。新パスワードを入力するダイアログが表示されます。</p> <p>(2) カーソルボタンの▲/▼/◀/▶で、新パスワードを入力してください。</p> <p>(3) カーソルを「新パスワードを入力してください」ダイアログの右端に移動します。カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されますので、同じパスワードを入力してください。</p> <p>(4) カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動して、カーソルボタン▶を押すと、新しいセキュリティパスワードが設定され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約30秒間表示されます。この間に新しいパスワードをメモしてください。ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「セキュリティ」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●セキュリティパスワードを忘れないようにしてください。

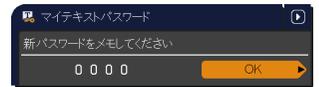
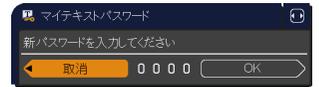
設定項目	操作内容
<p>マイスクリーンパスワード</p>	<p>マイスクリーンパスワード機能で、マイスクリーンへのアクセスを禁止し、登録されている映像の上書きを防ぐことができます。</p> <p>1 マイスクリンパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューのマイスクリーンパスワードを選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押してください。マイスクリーンパスワード有効/無効メニューが表示されます。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で有効を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶でパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されるので、同じパスワードを再度入力してください。</p> <p>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。この間にパスワードをメモしてください。ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「マイスクリーンパスワード」ダイアログに戻ります。</p> <p>マイスクリーンパスワードを設定すると、「スクリーン」メニュー（☞2-19）の「マイスクリーン」（☞2-20）、および「マイスクリーンロック」を操作できなくなり、「初期画面」が「マイスクリーン」に固定されます。</p> <p>お知らせ</p> <p>●マイスクリーンパスワードを忘れないようにしてください。</p> <p>2 マイスクリンパスワード機能を無効にする</p> <p>マイスクリーンパスワード機能を無効にすると、通常のコピー操作が可能になります。</p> <p>2-1 1-1 の手順に従って「マイスクリーンパスワード有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイスクリーンパスワードを入力すると画面は「マイスクリーンパスワード有効/無効」メニューに戻ります。</p> <p>3 マイスクリンパスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「マイスクリーン有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択し、「マイスクリーンパスワードを入力してください」（大）ダイアログを表示させてください。このダイアログには 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3 10 桁のマイスクリーンパスワード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせて</p> <p>お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイスクリーンパスワードをご連絡いたします。</p>
	    

設定項目	操作内容
<p>暗証コードロック</p>	<p>暗証コードロックは、登録された暗証コードが入力されない場合に本機が使用されることを防ぐ機能です。</p> <p>1 暗証コードロック機能を有効にする（暗証コードを設定・登録する）</p> <p>1-1 カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの暗証コードロックを選び、▶ボタンまたは ENTER ボタンで「暗証コード有効/無効」メニューを表示します。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲/▼で有効を選択すると「暗証コードを入力してください。」ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲/▼/◀/▶、コンピュータおよび入力切替ボタンで4つのパートからなる暗証コードを入力してください。「暗証コードを再入力してください。」ダイアログが表示されます。同じ暗証コードを再入力して、暗証コードの登録が完了します。</p> <p>「暗証コードを入力してください。」ダイアログまたは「暗証コードを再入力してください。」ダイアログが表示されているときに、約55秒何も入力しないと、ダイアログが閉じます。必要ならば1-1から手順を繰り返してください。</p> <p>暗証コードロック機能を有効にすると、本機を電源につなぎ、最初に電源を入れるたびに暗証コードを確認するダイアログが表示され、登録された暗証コードを入力しない限り、本機を使用できなくなります。間違った暗証コードが入力されると「暗証コードを入力してください。」ダイアログが再度表示されます。間違った暗証コードを3回入力すると、ランプが消灯します。その後は、暗証コードの入力を間違えるたびにランプが消灯します。また、ダイアログが表示されてから正しい暗証コードを約5分間以内に入力しない場合も、ランプが消灯します。ただし、この機能は、一度本機の電源を完全に切った後で、再度電源を入れないと有効になりません。</p> <p>お知らせ</p> <p>●暗証コードを忘れないようにしてください。</p> <p>2 暗証コードロック機能を無効にする</p> <p>暗証コードロック機能を無効にすると、本機は通常どおりに起動します。</p> <p>2-1 1-1の手順に従って、「暗証コードロック有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 カーソルボタン▲/▼で「無効」を選択すると、「暗証コードロックを入力してください。」ダイアログが表示されます。登録された暗証コードを入力すると、「暗証コードロック」は「無効」に設定されます。</p> <p>間違った暗証コードを3回入力すると、「暗証コードを入力してください。」ダイアログが閉じます。</p> 

セキュリティメニュー（つづき）

設定項目	操作内容
暗証コード ロック (つづき)	<p>3 暗証コードを忘れた場合</p> <p>3-1 「暗証コードを入力してください」ダイアログが表示されている間にリセットボタン、または操作パネルのカーソルボタン▶と入力切替ボタンを同時に、3秒間押してください。「暗証コードメニュー／照合コード」ダイアログが表示されます。このダイアログには10桁の暗証コード照合コードが表示されています。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none">● 「暗証コードメニュー」ダイアログが表示されているときに約5分間何も入力しないと、ランプが消灯します。 <p>3-2 10桁の暗証コード照合コードを、お客様のお名前、電話番号と合わせてお客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19までご連絡ください。確認後、暗証コードをご連絡いたします。</p>

設定項目	操作内容
<p>マイテキストパスワード</p>	<p>「マイテキスト入力」(☎2-36)で登録した、マイテキストの上書きを防止することができます。マイテキストパスワード機能を有効にすると、「マイテキスト表示」、「マイテキスト入力」の操作ができなくなり、マイテキストの登録・変更、および表示の設定を変更できなくなります。</p> <p>1 マイテキストパスワード機能を有効にする（パスワードを設定・登録する）</p> <p>1-1 カーソルボタン▲／▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキストパスワード」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押して「マイテキストパスワード有効／無効」メニューを表示してください。</p> <p>1-2 カーソルボタン▲／▼で「マイテキストパスワード」メニューの「有効」を選択してください。「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログが表示されます。</p> <p>1-3 カーソルボタン▲／▼／◀／▶を使ってパスワードを入力してください。カーソルを「新パスワードを入力してください」（小）ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶を押すと、「新パスワードを再入力してください」ダイアログが表示されます。同じパスワードをもう一度入力してください。</p> <p>1-4 カーソルを「新パスワードを再入力してください」ダイアログの右端に移動し、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、マイテキストパスワードが設定・登録され、「新パスワードをメモしてください」ダイアログが約 30 秒間表示されます。この間にパスワードをメモしてください。</p> <p>リモコンの ENTER またはカーソルボタン▶を押すと、「マイテキストパスワード 有効／無効」メニューに戻ります。</p> <p>2 マイテキストパスワード機能を無効にする</p> <p>2-1 1-1 の手順に従って、「マイテキストパスワード 有効／無効」メニューを表示してください。</p> <p>2-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください。」（大）ダイアログが表示されます。登録されたマイテキストパスワードを入力すると「マイテキストパスワード 有効／無効」メニューに戻ります。</p> <p>間違ったパスワードを入力すると、メニューが閉じます。必要ならば 2-1 から手順を繰り返してください。</p> <p>3 マイテキストパスワードを忘れた場合</p> <p>3-1 1-1 の手順に従って「マイテキストパスワード 有効／無効」メニューを表示してください。</p> <p>3-2 「無効」を選択すると、「パスワードを入力してください」（大）ダイアログが表示されます。このダイアログには、10 桁のマイテキストパスワード照合コードが表示されています。</p> <p>3-3 10 桁のマイテキストパスワード照合コードをお客様のお名前、電話番号と合わせて</p> <p>お客様ご相談窓口（家電ビジネス情報センター） TEL 0120-3121-19 までご連絡ください。確認後、マイテキストパスワードをご連絡いたします。</p>



セキュリティメニュー（つづき）

設定項目	操作内容
<p>マイテキスト表示</p>	<p>(1) カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキスト表示」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押して「マイテキスト表示 有効/無効」メニューを表示してください。</p> <p>(2) カーソルボタン▲/▼で「マイテキスト表示 有効/無効」メニューの「有効」または「無効」を選択してください。</p> <p style="text-align: center;">有効 ↔ 無効</p> <p>「有効」に設定すると、初期画面（図2-19）と「入力_インフォメーション」ダイアログ（図2-30）に、登録したマイテキストが表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;">お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「マイテキストパスワード」（図2-35）が「無効」に設定されているときのみ、「マイテキスト表示」の設定を変更できます。   
<p>マイテキスト入力</p>	<p>(1) カーソルボタン▲/▼で「セキュリティ」メニューの「マイテキスト入力」を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押して「マイテキスト入力」ダイアログを表示してください。</p> <p>(2) 最初の3行（下線付き）に現在のマイテキストが表示されます。マイテキストをまだ登録していないときは、最初の3行は空白です。カーソルボタン▲/▼/◀/▶で各文字を選択し、リモコンの ENTER または入力切替ボタンを押して入力してください。リセットボタンもしくはカーソルボタン◀と入力切替ボタンを同時に押すことで1文字削除することができます。また、カーソルを「消去」または「全消去」に移動させて、ENTER または入力切替ボタンを押すことで、1文字または全ての文字を削除することができます。マイテキストは1行につき最大24文字入力できます。</p> <p>(3) マイテキストを編集するには、カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、マイテキストが表示されている行の、変更/削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンまたは入力切替ボタンを押して選択します。選択した文字を、マイテキストを入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(4) テキストの入力・編集が終わったら、1番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶、ENTER または入力切替ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終わるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀、ENTER または入力切替ボタンを押します。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;">お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 「マイテキストパスワード」（図2-35）が「無効」になっているときのみ、「マイテキスト入力」の操作が行えます。   

取扱説明書 - 詳細版 -

液晶プロジェクター

CP-RX82J

(形名 CP-RX82)

【技術情報編】

技術情報編では、本機の仕様、エラーメッセージや故障と思われる現象への対処についてご説明します。保証とアフターサービスについては、巻末をご覧ください。



警告

ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

技術情報編

もくじ



コンピュータ信号について.....	3 - 2
対応信号例.....	3 - 2
初期設定信号.....	3 - 3
入出力信号端子.....	3 - 4

故障かなと思ったら.....	3- 8
一括して初期設定にもどす.....	3 - 8
メッセージ表示.....	3 - 9
インジケータ表示.....	3 - 10
故障と間違えやすい現象について.....	3 - 12

保証とアフターサービス について.....	3 - 15
--------------------------	--------

コンピュータ信号について

対応信号例

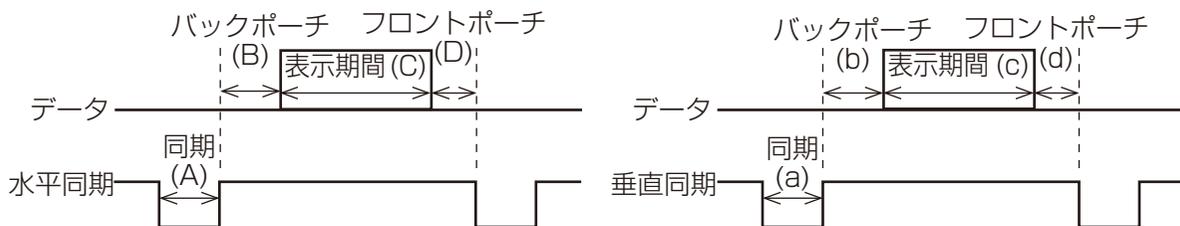
解像度 (水平 x 垂直)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	規格	信号モード
720 x 400	37.9	85.0	VESA	TEXT
640 x 480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)
640 x 480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)
640 x 480	37.5	75.0	VESA	VGA (75Hz)
640 x 480	43.3	85.0	VESA	VGA (85Hz)
800 x 600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)
800 x 600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)
800 x 600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)
800 x 600	46.9	75.0	VESA	SVGA (75Hz)
800 x 600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)
832 x 624	49.7	74.5	—	Mac 16" mode
1024 x 768	48.4	60.0	VESA	XGA (60Hz)
1024 x 768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)
1024 x 768	60.0	75.0	VESA	XGA (75Hz)
1024 x 768	68.7	85.0	VESA	XGA (85Hz)
1152 x 864	67.5	75.0	VESA	1152 x 864 (75Hz)
1280 x 768	47.7	60.0	VESA	W-XGA(60Hz)
1280 x 800	49.7	60.0	VESA	1280 x 800 (60Hz)
1280 x 960	60.0	60.0	VESA	1280 x 960 (60Hz)
1280 x 1024	64.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)
1280 x 1024	80.0	75.0	VESA	SXGA (75Hz)
1280 x 1024	91.1	85.0	VESA	SXGA (85Hz)
1400 x 1050	65.2	60.0	VESA	SXGA+ (60Hz)
1600 x 1200	75.0	60.0	VESA	UXGA (60Hz)

お知らせ

- 本機とコンピュータを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性をあらかじめご確認ください。
- コンピュータによっては複数ディスプレイ表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合があります。
- 入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。上記の解像度をご参照ください。
- 本機では UXGA(1600 × 1200) の信号まで表示することができますが、信号処理の過程でプロジェクターの液晶パネルの解像度に変換、表示されます。入力信号と液晶パネルの解像度が同一の場合に、映像表示は最良となります。
- 画面の自動調節は入力信号によって正しく動作しない場合があります。
- SYNC ON G、コンポジットシンク信号などの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。

初期設定信号

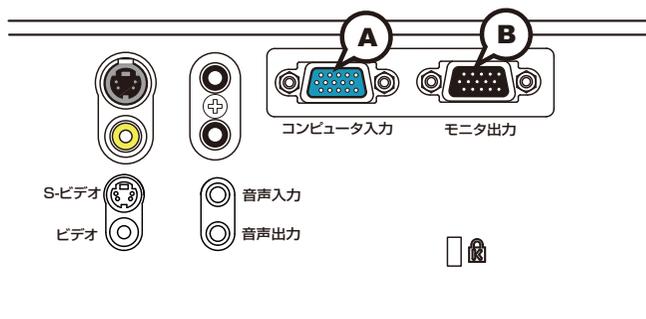
本機では下記の信号を初期設定していますが、コンピュータは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じて「表示」メニューの「垂直位置」「水平位置」の調節を行ってください。



解像度 (水平 x 垂直)	水平信号タイミング (μs)				垂直信号タイミング (ライン数)				信号モード
	(A)	(B)	(C)	(D)	(a)	(b)	(c)	(d)	
720 x 400	2.0	3.0	20.3	1.0	3	42	400	1	TEXT
640 x 480	3.8	1.9	25.4	0.6	2	33	480	10	VGA (60Hz)
640 x 480	1.3	4.1	20.3	0.8	3	28	480	9	VGA (72Hz)
640 x 480	2.0	3.8	20.3	0.5	3	16	480	1	VGA (75Hz)
640 x 480	1.6	2.2	17.8	1.6	3	25	480	1	VGA (85Hz)
800 x 600	2.0	3.6	22.2	0.7	2	22	600	1	SVGA (56Hz)
800 x 600	3.2	2.2	20.0	1.0	4	23	600	1	SVGA (60Hz)
800 x 600	2.4	1.3	16.0	1.1	6	23	600	37	SVGA (72Hz)
800 x 600	1.6	3.2	16.2	0.3	3	21	600	1	SVGA (75Hz)
800 x 600	1.1	2.7	14.2	0.6	3	27	600	1	SVGA (85Hz)
832 x 624	1.1	3.9	14.5	0.6	3	39	624	1	Mac 16" mode
1024 x 768	2.1	2.5	15.8	0.4	6	29	768	3	XGA (60Hz)
1024 x 768	1.8	1.9	13.7	0.3	6	29	768	3	XGA (70Hz)
1024 x 768	1.2	2.2	13.0	0.2	3	28	768	1	XGA (75Hz)
1024 x 768	1.0	2.2	10.8	0.5	3	36	768	1	XGA (85Hz)
1152 x 864	1.2	2.4	10.7	0.6	3	32	864	1	1152 x 864 (75Hz)
1280 x 768	1.7	2.5	16.0	0.8	3	23	768	1	W-XGA(60Hz)
1280 x 800	1.6	2.4	15.3	0.8	3	24	800	1	1280 x 800 (60Hz)
1280 x 960	1.0	2.9	11.9	0.9	3	36	960	1	1280 x 960 (60Hz)
1280 x 1024	1.0	2.3	11.9	0.4	3	38	1024	1	SXGA (60Hz)
1280 x 1024	1.1	1.8	9.5	0.1	3	38	1024	1	SXGA (75Hz)
1280 x 1024	1.0	1.4	8.1	0.4	3	44	1024	1	SXGA (85Hz)
1400 x 1050	1.2	2.0	11.4	0.7	3	33	1050	1	SXGA+ (60Hz)
1600 x 1200	1.2	1.9	9.9	0.4	3	46	1200	1	UXGA (60Hz)

技術情報編

入出力信号端子

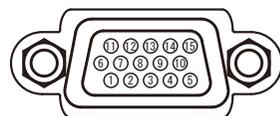


① コンピュータ入力, ② モニタ出力

D-sub 15ピン ミニシュリンクジャック

< コンピュータ信号 >

- ・映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω 終端（正極性）
- ・水平 / 垂直同期信号（セパレートシンク）：TTL レベル（正極性 / 負極性）
- ・複合同期信号（コンポジットシンク）：TTL レベル



ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	映像信号 赤	6	接地 赤	11	—
2	映像信号 緑	7	接地 緑	12	①：SDA (DDC データ) ②, ③：—
3	映像信号 青	8	接地 青	13	水平同期信号 / 複合同期信号
4	—	9	—	14	垂直同期信号
5	接地	10	接地	15	①：SCL (DDC クロック) ②, ③：—

< コンポーネントビデオ信号 >

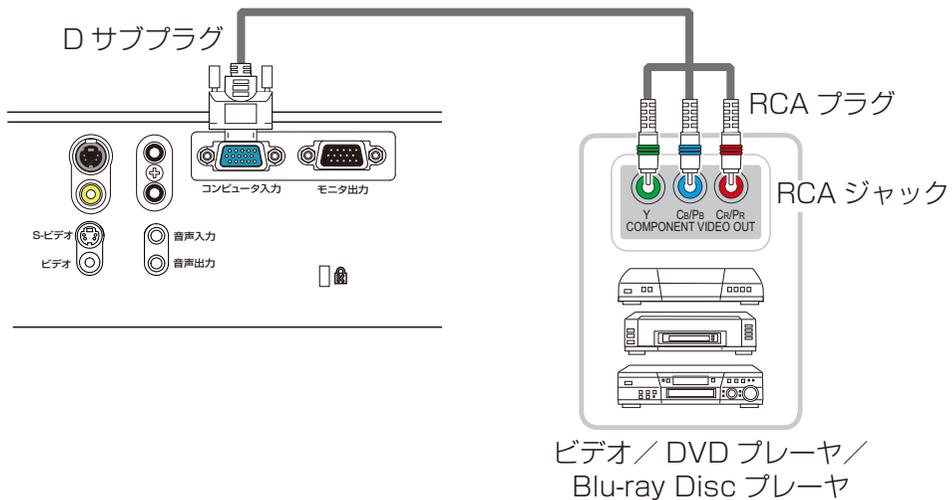
- ・Y：1.0 ± 0.1Vp-p (同期信号含む)、75 Ω 終端
- ・Cb/Pb：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω 終端
- ・Cr/Pr：0.7 ± 0.1Vp-p、75 Ω 終端
- ・システム：480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	Cr/Pr	6	接地 Cr/Pr	11	—
2	Y	7	接地 Y	12	—
3	Cb/Pb	8	接地 Cb/Pb	13	—
4	—	9	—	14	—
5	接地	10	接地	15	—

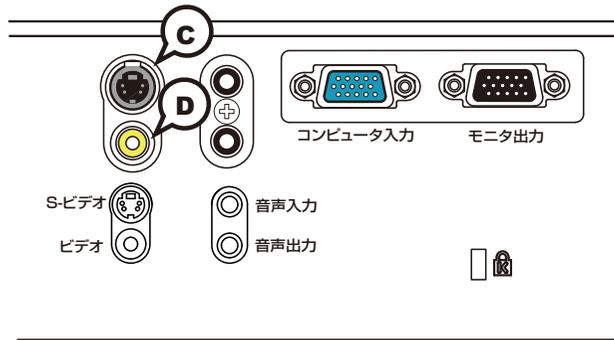
お守りください

- 本機の各接続端子は凹んでいるので、L形ではなく、ストレート形プラグのケーブルを使用してください。

コンピュータ入力端子へのコンポーネントビデオ信号の入力について



コンピュータ入力端子へのコンポーネントビデオ信号の入力にはRCA-Dサブ変換ケーブルまたはアダプタを使用してください。ケーブルまたはアダプタに要求されるピン仕様については、④ コンピュータ入力 (3-4) を参照してください。



◎ S-ビデオ

ミニ DIN4 ピンジャック

・信号方式：NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43, PAL(60Hz)



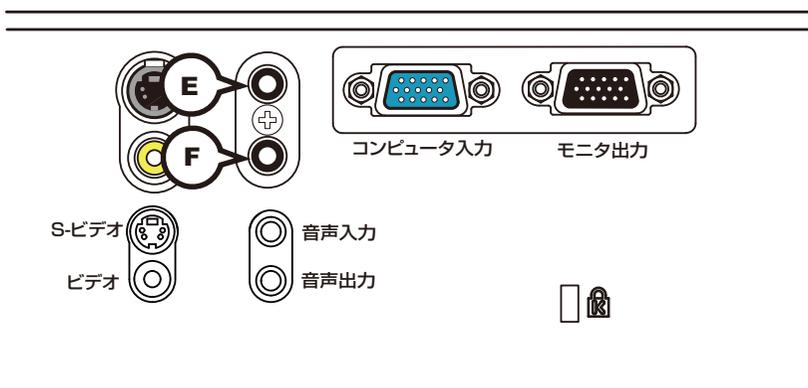
ピン No.	信号
1	C (色信号) : 0.286Vp-p(NTSC, burst), 75 Ω終端 0.300Vp-p(PAL / SECAM, burst), 75 Ω終端
2	Y (輝度信号) : 1.0Vp-p, 75 Ω終端
3	接地
4	接地

◎ ビデオ

RCA ジャック

・信号方式：NTSC, PAL, SECAM, PAL-M, PAL-N, NTSC4.43, PAL(60Hz)

・入力信号：1.0 ± 0.1Vp-p、75 Ω終端



⑤ 音声入力

φ 3.5 ステレオミニジャック

・ 入力信号：200mVrms、47k Ω 終端

⑥ 音声出力

φ 3.5 ステレオミニジャック

・ 出力信号：200mVrms、出力インピーダンス 1k Ω

故障かなと思ったら

警告



電源プラグを
コンセント
から抜け

●異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、などの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。その後、煙やにおい、音などが止まったことを確認し、販売店にご連絡ください。



電源プラグを
コンセント
から抜け

●次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店に相談する

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

また、お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

- ▶ 内部に異物や液体（金属や水）が入った
- ▶ 落とした、強い衝撃をあたえた
- ▶ 本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある

ご使用のまえに、必ず「正しくお使いいただくために」(P1-2 ~ 11)をお読みください。

異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、以下の「一括して初期設定にもどす」、「メッセージ表示について」、「インジケータ表示について」、「故障と間違えやすい現象について」をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口 (P3-16) にご相談ください。

一括して初期設定にもどす

誤って本機のメニュー設定を行い、元に戻せなくなったときには、一括初期化機能をご使用ください。

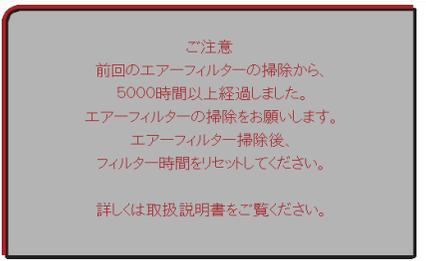
「その他」メニューの「特別な設定」-「工場出荷設定」(P2-30)で「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。

お知らせ

- マイスクリーンパスワード (P2-32) が設定されていない場合は、マイスクリーン画像もクリアされます。
- マイスクリーンパスワードが設定されている場合は、「初期画面」、「マイスクリーンロック」は初期化されません。
- 「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」および「表示言語」、また「セキュリティ」メニューの各項目は、一括初期化機能では初期化されません。「ランプ時間」、「フィルター時間」、「フィルター掃除通知」を初期化するには、個別にリセットボタンを押すなどの初期化操作を行ってください。

メッセージ表示

本機の電源を入れたときに、下表のようなメッセージが表示されることがあります。メッセージが表示されたら下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

メッセージ	内容
 <p>コンピュータ入力 信号が入力されていません</p>	<p>入力信号が見つかりません。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ (☎1-18) ・信号源 (DVD、ビデオ、コンピュータなど) は正しく動作していますか？
 <p>コンピュータ入力 信号は同期範囲外です fh 123kHz fv 123Hz</p>	<p>入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力している信号は本機の仕様 (☎3-2) に合っていますか？ ・信号源 (DVD、ビデオ、コンピュータなど) は正しく動作していますか？
 <p>コンピュータ入力 入力信号が不安定です</p>	<p>入力信号の水平又は垂直周波数が安定していません。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力している信号は本機の仕様 (☎3-2) に合っていますか？ ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ (☎1-18) ・信号源 (DVD、ビデオ、コンピュータなど) は正しく動作していますか？ <p>信号入力切替機を介して信号源と本機を接続している場合は、信号源と本機を直接接続してみてください。左記のメッセージが表示されなくなる場合は、ご使用の信号入力切替機の仕様をご確認ください。</p>
 <p>吸気口をチェックしてください。</p>	<p>内部の温度が高すぎるか、短時間に上昇もしくは下降しました。すぐに本機の電源を抜き、20分以上冷ましてから、以下のことを確認のうえ、もう一度電源を入れてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？ (☎1-7,13) ・エアフィルターは汚れていませんか？ (☎1-37) ・周囲温度が 35℃を超えていませんか？ ・エアコンなどの風が本機にあたっていませんか？ ・「その他」メニュー (☎2-25) の「特別な設定」 (☎2-29) - 「ファン速度」が正しく設定されていますか？ <p>「ファン速度」を誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。</p>
 <p>ご注意 前回のエアフィルターの掃除から、 5000時間以上経過しました。 エアフィルターの掃除をお願いします。 エアフィルター掃除後、 フィルター時間をリセットしてください。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。</p>	<p>エアフィルターのお手入れ時期です。すぐに電源を切って電源プラグを抜きしばらく待って十分冷ましてから、エアフィルターを掃除または交換 (☎1-37) してもう一度電源を入れてください。エアフィルターを掃除または交換したら、「その他」メニューの「フィルター時間」 (☎2-26) を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。</p>
 <p>操作できないボタンが入力されました。</p>	<p>無効なボタンが押されました。 ご利用になるボタンを再度確認してください。</p>

インジケータ表示

電源、温度、ランプインジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。処置後もインジケータが同様に点灯、点滅したり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は、販売店にご相談ください。

インジケータ



電源	温度	ランプ	内容
橙色の点灯	消 灯	消 灯	本機はスタンバイ状態です。 この状態で電源を入れる（ランプを点灯させる）または電源プラグを抜くことができます。（☎1-26,27）
緑色の点滅	消 灯	消 灯	本機はウォームアップ中です。 電源インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
緑色の点灯	消 灯	消 灯	本機は通常の動作状態です。
橙色の点滅	消 灯	消 灯	本機は冷却動作中です。 電源インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
赤色の点滅	—	—	不具合が見つかったため、本機は冷却動作中です。 電源インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、ランプインジケータおよび温度インジケータの状態により、以下に従って処置してください。
赤色の点灯 または 赤色の点滅	消 灯	赤色の点灯	ランプが点灯しない、または本機内部の温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待つて冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（☎1-7,13） ・エアフィルターは汚れていませんか？（☎1-37） ・周囲温度が 35℃を超えていませんか？ ・ランプは正しく取り付けられていますか？ 再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、ランプを交換してください。（☎1-35,36）
赤色の点灯 または 赤色の点滅	消 灯	赤色の点滅	ランプまたはランプカバーがはずれているか、取付けが不完全です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、45分以上待つて冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプまたはランプカバーの取付け状態をご確認（☎1-36）のうえ、もう一度電源を入れてください。

(次ページにつづく)

電源	温度	ランプ	内容
赤色の点灯 または 赤色の点滅	赤色の点滅	消 灯	冷却ファンが動作しません。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物がはさまったりしていませんか？ ・本機の周辺に磁気を発生するものはありませんか？
赤色の点灯 または 赤色の点滅	赤色の点灯	消 灯	本機内部の温度が上がりすぎているか、短時間に大きく上昇、下降した可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてから以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？ (☞1-7,13) ・エアフィルターは汚れていませんか？ (☞1-37) ・周囲温度が35℃を超えていませんか？ ・エアコンなどの風が本機にあたっていませんか？ ・「その他」メニュー (☞2-25) の「特別な設定」 (☞2-29) - 「ファン速度」が正しく設定されていますか？ 「ファン速度」を誤った設定のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
緑色の点灯	ランプインジケータと 温度インジケータが 同時に赤色の点滅		エアフィルターが汚れている可能性があります。エアフィルターのお手入れ時期です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからエアフィルターを掃除または交換 (☞1-37) し、もう一度電源を入れてください。エアフィルターを掃除または交換したら、「その他」メニューの「フィルター時間」 (☞2-26) を使って、忘れずにフィルター時間を初期化してください。
緑色の点灯	ランプインジケータと 温度インジケータが 交互に赤色の点滅		内部温度が下がりすぎている可能性があります。 適切な温度環境 (5 ~ 35℃) でご使用ください。本機の電源を切り、周囲の気温をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。

お知らせ

- 内部温度が上がりすぎたり、ランプやランプカバーの取付けが不完全な場合など、本機では安全のため、自動的に電源が切れることがあります。このときインジケータランプも消灯することがありますのでご注意ください。この場合はすぐに電源コードを抜いて、45分以上待って冷ましてください。ランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。「ランプを交換する」 (☞1-35,36) をご覧ください。

故障と間違えやすい現象について

以下のような現象は故障ではない場合があります。

修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。

処置後も現象が改善しない場合は販売店またはお客様ご相談窓口 (☎3-16) にご相談ください。

現象	確認内容	参考頁
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。	☰1-24
	停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか？ その場合は電源コードを抜いて10分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。	☰1-26
	ランプおよびランプカバーは正しく取付けられていますか？ すぐに電源コードを抜いて45分以上待って冷ましてください。 本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。	☰1-26 ☰1-36
映像も音声も出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	☰1-18
	信号源（DVD、ビデオ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？ 信号源の電源や設定を確認してください。	—
	信号が入力されている端子を選んでいますか？ 映像信号を選択しなおしてください。	☰1-29
	AV ミュート機能が働いていませんか？ ブランク ボタンまたは 消音 ボタンを押して確認してください。	☰1-28,34
映像は出るが 音声が出ない	音声信号は正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	☰1-18
	音量が小さく調節されていませんか？ 音量を調節して大きくしてください。	☰1-28
	音声を消していませんか？ 消音 ボタンまたは 音量 + / - ボタンを押し、音声を復帰させてください。	☰1-28
	音声信号の入力端子および内蔵スピーカーが正しく設定されていますか？「オーディオ」メニューの「スピーカー」、「音声入力設定」の設定を確認してください。	☰2-18

(次ページにつづく)

現象	確認内容	参考頁
音声は出るが映像が出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	📖1-18
	画面の明るさが極端に暗く調節されていませんか？ 「映像」メニューの「明るさ」を調節して明るくしてください。	📖2-6
	接続しているコンピュータがプラグ&プレイ・モニタを検知できますか？ 他のプラグ・アンド・プレイ・モニタを使用して、コンピュータがプラグ・アンド・プレイ・モニタを検知することができるか確認してください。	📖1-20
	ブランク画面になっていませんか？ ブランクボタンを押して確認してください。	📖1-34
映像が動かない (静止している)	静止ボタンで映像を静止させていませんか？ 静止ボタンを押して確認してください。	📖1-34
色が薄い、色あいが悪い	色の濃さや色あいが正しく調節されていますか？ 「映像」メニューの「色の濃さ」、「色あい」を調節してください。	📖2-7
	色空間、信号方式は正しく選択されていますか？ 「入力」メニューの「色空間」、「ビデオフォーマット」の設定を変更してください。	📖2-12,13
映像が暗い	画面の明るさやコントラストが暗く設定されていませんか？ 「映像」メニューの、「明るさ」、「コントラスト」を調節して明るくしてください。	📖2-6
	エコモードが設定されていませんか？ 「設置メニュー」の「エコモード」を「ノーマル」モードに「オートエコモード」を「オフ」に設定してご使用ください。	📖2-16
	ランプの寿命は近づいていませんか？ ランプを交換してください。	📖1-35,36
映像がぼやける、もやがかかってみえる、映像周辺が明るい	フォーカスは調節されていますか？クロック位相は調節されていますか？ フォーカス、および「表示」メニューの「クロック位相」を調節してください。	📖1-31 📖2-10
	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？ レンズをお手入れしてください。	📖1-39
音声出力端子、モニタ出力端子から信号が出力されない (スタンバイ時)	「スタンバイモード」が「省電力」モードに設定されていませんか？ 「スタンバイモード」を「通常」に設定してください。	📖2-17

(次ページにつづく)

故障と間違えやすい現象について (つづき)

現象	確認内容	参考頁
ちらつきや縞模様など、 画像ノイズが現れる	「エコ」モードで使用していませんか？ 「エコ」モードでのご使用中には、ちらつきが発生する場合があります。 気になる場合は、「設置メニュー」の「エコモード」を「ノーマル」に、「オートエコモード」を「オフ」に設定してご使用ください。	📖2-16
	「オーバースキャン」を大きく設定しすぎていませんか？ 「表示」メニューで「オーバースキャン」を調節し直してください。	📖2-9
	「ビデオ NR」を強く設定していませんか？ 「入力」メニューで「ビデオ NR」を「中」か「弱」に設定してみてください。	📖2-12
	フレームロック機能を有効にしていますか？ 信号によっては、フレームロック機能が動作しない場合があります。「入力」メニューで、選択している入力端子の「フレームロック」を「無効」にしてみてください。	📖2-14
本機を動かした時、 内部からカタカタ音がする	本機の設置姿勢に合わせて内部で空気の流路の切り替えを行うフラップが動く音です。故障や不具合ではありません。	-

お知らせ

- 画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- 静止画、動きの少ない映像や液晶パネルの仕様と異なる縦横比（16：10 など）の映像を長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて残像が残ることがあります。この場合は白画面（白い無地の映像）を1時間以上投映し続けるか、または電源を切って数時間放置してください。白画面表示には、ブランク機能（📖1-34）をご利用ください。

保証とアフターサービスについて(必ずお読みください。)

修理を依頼されるときは

(出張修理)

【技術情報編】「故障かなと思ったら」(P3-8～12)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間については保証書をご覧ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

補修用性能部品保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
本体形名	CP-RX82J (CP-RX82)
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

+

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。

+

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検



このような症状はありませんか

- 電源を入れても映像が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- ランプが破裂した。



ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに 関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 365日/9:00～19:00

商品情報やお取り扱いに ついてのご相談は

TEL 0120-3121-19

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30/携帯電話、PHSからも
ご利用できます。(日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など
弊社の休日は休ませていただきます。)

- 本窓口等で取得致しましたお客様の個人情報は、お客様のご相談及びサポート等への対応を目的として利用し、適切に管理します。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するために通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

※弊社の「個人情報保護に関して」は、下記をご参照下さい。

URL <http://www.hitachi-ce.co.jp/privacy/index.html>

商標について：

- ・Microsoft[®]、Internet Explorer[®]、Windows[®]、Windows NT[®] は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・Pentium[®] は、Intel Corp. の登録商標です。
- ・PowerPC[®] は、International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・Mac[®]、Macintosh[®]、Mac OS[®] は、Apple Inc. の登録商標です。
- ・VGA および XGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・VESA および DDC (DDC/CI) は Video Electronics Standards Association の商標です。
- ・Blu-ray[™] および Blu-ray Disc[™] は Blu-ray Disc Association の商標です。

その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

 日立コンシューマエレクトロニクス株式会社
ソリューションビジネス事業部

〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地